

第

11

回

特集

高松高等学校百年の歩み

随筆: 母校の思い出など

東 | 京 | 玉 | 翠 | 会

とき

平成5年7月10日(土)
午後5時～7時30分

ところ

東京プリンスホテル
鳳凰の間

目次

式次第	2
平成4年度収支計算書(監査報告)	3
ごあいさつ	4
玉翠会会長 大西 潤甫	4
高松高等学校校長 杉岡 保之	5
故大島功会長の御逝去を悼む	6
宮井仁之助	6
特集① 高松高等学校百年の歩み	7
(1) 高松中学校の沿革	8
(2) 高松高等女学校の沿革	10
(3) 高松高等学校の沿革	12
(4) 創立百周年記念行事等について	16
特集② 随筆: 母校の思い出など	
随想	前田 フミ 18
思い出の数々など	増田 正敏 20
雲中軒河童亭	宮井仁之助 22
高中の百番	村尾 清一 24
東京高中50(ゴーマル)会	辻 義文 26
戦争をはさんでの頃	手島 芳子 28
いつか書きたい「小説・高高時代」	西村 秀俊 30
高高法曹会	大西昭一郎 32
山岳部の頃	高城 修三 34
私の近況	熊谷富由美 36
瀬戸内経済圏の中核として50万都市を目指す・高松	37
高松中学校校歌	40
高松高等女学校校歌	41
高松高等学校校歌	42
朝日輝く(校友会の歌)	43
東京玉翠会会則	44
東京玉翠会役員候補者名簿	47
東京玉翠会高中部会幹事名簿	48
東京玉翠会晩翠部会幹事名簿	50
東京玉翠会(高高)幹事名簿	51
第11回東京玉翠会総会幹事を担当して、司会の紹介	54
寄贈図書目録	55
物品寄贈会社	56



これが、俺たちの味だ。

汗を流す。仲間と飲む。うまい。やっぱり、俺たちの選ぶビールはこれだ。アサヒ スーパードライ。



うまさ洗練、辛口・生。

①ビールは、20歳になってから。自動販売機による酒類の販売は午後11時から午前5時まで停止されています。アサヒビール株式会社

式次第

一、開会の辞 司会 松井純子（昭和48年卒）

一、東京玉翠会副会長挨拶

一、議 事

1. 報告事項
 - (1) 会計報告
 - (2) 監査報告
2. 審議事項
 - 役員改選

一、来賓紹介

一、来賓挨拶

高松高等学校校長 杉岡保之先生
玉翠会会長 大西潤甫氏（昭和17年卒）

一、乾 杯 香川県知事 平井城一氏（昭和15年卒）

一、懇親会次第

1. 抽選会等
2. 母校図書購入資金贈呈
3. 次回総会担当幹事紹介（昭和45年卒）
4. 校歌斉唱

一、閉会の辞

平成4年度収支計算書(案)

自 平成4年4月1日
至 平成5年3月31日

東京玉翠会
会長 大 島 功

<特別会計>

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
会 場 使 用 料	7,936,540	総 会 出 席 会 費	7,378,000
会 場 運 営 費	1,503,146	男 性 549人	
総 会 準 備 費	3,160,536	女 性 363人	
母 校 寄 付 金	150,000	寄 付 金 収 入	5,322,450
一般会計への繰入金	61,418	雑 収 入	111,190
合 計	12,811,640	合 計	12,811,640

<一般会計>

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
支 部 交 付 金	298,400	前 期 繰 越 金	5,325,717
通 信 費	45,232	年 会 費	730,000
事 務 用 品 費	1,300	預 金 利 子	214,298
		雑 収 入	18,000
次 年 度 立 替 金	200,000	前 年 度 立 替 金	200,000
		特別会計より受入金	61,418
次 期 繰 越 金	6,004,501		
合 計	6,549,433	合 計	6,549,433

次期繰越金

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店
 普通預金 No.125044 1,307,717円
 定期預金(通帳式定期) 満期 5.7.23 1,573,026円
 定期預金(通帳式定期) 満期 6.2.4 1,103,020円
 定期預金(通帳式定期) 満期 6.2.4 2,007,858円
 (ロ) 手持現金 12,880円
 合 計 6,004,501円

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支決算書について監査の結果、適正なることを認める。
平成5年5月18日

監事 鳥 羽 忠 臣 ㊟
 同 内 田 信 子 ㊟
 同 鴨 田 昭 代 ㊟



ごあいさつ

玉翠会 会長 大西 潤甫

本日、第11回東京玉翠会総会が開催されるに当り、心からお慶びを申し上げますとともに、輝かしい伝統を持つ本会が、年々盛大にとり行われますことは、故大島会長様をはじめ役員・幹事の皆様のご尽力の賜物と、ここにあらためて深く敬意を表する次第であります。

故大島功先生は、玉翠会の宝として数々の業績を残されましたが、今総会を前にお亡くなりになりましたことに衷心より哀悼の意を表します。どうかこの悲しみをのり越えられ、先生の志を受け継がれまして、東京玉翠会が一層の前進をされますようお祈りいたします。

私は、綾田整治様が玉翠会会長をご退任されました後、昨年より会長の大役をお引受けしていますが、創立百周年記念行事の準備も会員皆様のご協力を得て順調に進んでいますことを心より感謝申し上げます。

創立百周年記念行事の詳細につきましては玉翠会報に掲載してありますが、主な行事について述べますと、

記念式典は11月27日の午前中に高松高校の体育館で行いますが、記念祝賀会はその日の午後で開催します。会場は高松市総合体育館を予約しておりますので、多数の会員の皆様のご出席をお願いしたいと思っております。

記念式典・祝賀会前日の26日には、原田茂生・林康子両氏による記念音楽会を香川県民ホールで開催します。

また、百周年記念モニュメントも製作されることになっています。この募金については、多くの会員の方々からご協力を得ることができました。深く感謝いたしております。

以上の他にも記念誌の発刊、生徒と卒業生がともに歌う「第九、響け歓喜の歌」などの企画がありますが、これら各種の行事を成功させるのは会員皆様のご協力以外にはありません。皆様の方で創立百周年記念行事が素晴らしいものになることを願っています。

最後になりましたが、東京玉翠会の一層のご発展と、本日ご参会の皆様方のますますのご活躍・ご健勝を心からお祈りし、私のご挨拶といたします。



ごあいさつ

香川県立高松高等学校 校長 杉岡 保之

本日は、第11回東京玉翠会総会が多数の会員のご参加をえて盛大に開催されましたことを、心よりお慶び申し上げますとともに、日頃、母校のために何かとご支援ご協力賜っておりますことに厚く感謝申し上げます。母校も今年百周年の記念すべき年を迎え、とりわけ先輩諸兄姉の皆様が母校に寄せられる暖かいお気持ちを職員・生徒一同ひしひしと感じておるところでございます。

さて、昭和62年の新体育館建設に始まった校舎等の大改築事業も、平成3年の玉翠会館・新校舎の落成、昨年の駐輪場テニスコート複合施設の建設を経て漸く大詰めを迎え、本年8月末の運動場・部室工事の完成を待つばかりとなりました。今は、爽やかな初夏の陽光に白亜の新校舎が美しく輝き、石堀のサツキの大きな植込みが鮮やかな彩りを添え、昨年植えかえた大楠も二度目の新芽を吹き周囲の環境もようやく整ってまいりました。11月27日の創立百周年記念式典・同祝賀会には新しい世紀を迎える装いも新たな高松高校の姿をご覧いただけるものと存じます。

このようにめまぐるしく移り変わる環境の中ではありますが、在校生は高百年の輝かしい伝統をしっかりと受け継ぎ、新しい世紀を拓いていくという高い気概に燃え、スポーツや文化活動の分野に顕著な成果をあげ、進学においても公立高校として全国有数の実績を示しています。今年、8月7日には浦和市民文化センターに於いて演劇部が四国の代表として出演いたします。ご観覧頂きたいものと存じます。

新校舎が落成し百周年を迎えて、これからは一層個性的で創造性に富み、豊かな国際感覚を身につけた生徒を育てていくことが大切であろうと存じます。とりわけ個性と創造性は、その重要性が指摘されながらもこれまでのわが国の教育がうまく育てることが出来なかったことだと言われます。しかし、本校の伝統である文武両道の精神と自由闊達の校風を受け継ぎ、先生方の熱意と新しい校舎の機能を十分に活用すれば、そのことはさして困難ではないと思えます。何れにもせよ、本校で学んだ生徒が、新しい世紀の国際社会のなかで広く尊敬される人物に成長していく基本を養っていききたいものと願っています。このような教育を進めるにあたって、先輩各位のご理解とご指導を賜りますようお願いいたします。

終わりにりましたが、東京玉翠会の益々のご隆盛と皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

去る6月7日、東京玉翠会会長故大島功様の突然の訃報に接し、誠に驚愕、痛惜の念に耐えません。

先生は、本会結成以来その充実発展に多大の貢献をされるとともに、母校にも一再ならずご来校頂き、ご講演や体育館に掲げられた「大道坦々」の額などを通して、後輩にも大きな影響を与えられました。いま、改めて先生のご功績に感謝申し上げますとともに、衷心より哀悼の意を表したいと存じます。



故大島功会長の御逝去を悼む

東京玉翠会副会長 宮井 仁之助

東京玉翠会会長であられた大島功氏は、6月7日ご逝去されました。痛恨のきわみであり、哀惜の念に耐えません。

4月下旬お目にかかったとき、多少ご体調が良くないようにお見受けしましたのでお伺いしたところ「いや何の変わりもない」との返事で、逆に東京玉翠会の準備のことを聞かれ、5月12日の高中部会の幹事会には出席するからとのことでした。しかし後で承ると、その席におられた医師の東原先生(高中昭和8年卒)が異状を察知され、その奨めで翌週からご入院された由です。

大島さんは昭和4年高中を4年終了、六高、東大と進まれ、卒業後は検察界に身を投じられ、各地の検事、山形、岐阜、宇都宮、浦和の各検察庁検事正を歴任の後、1973年(昭和48年)ご退官後は弁護士としてご活躍しておられました。小学校(4番丁)、中学と同じ学年だったのが後に日本社会党委員長になられた成田知巳氏で、これ以上文武両道の達人の大島と一緒にではかなわんといつて同氏は金沢の四高へ進まれた、ということを知ったことがあります。

大島さんがその80年の生涯で最も熱を注がれ努力されたのが、戦後の日本剣道界の再建でした。高中時代から剣道を始められ、六高時代は「大将」として既に剣名の高かった大島さんは、昭和8年、東大2年生のとき全日本学生剣道大会で、75校の精鋭を勝ち抜き、みごと東京帝大生として初の全国優勝を成し遂げられました。検察界に入られた後も剣道を続けられ、殊に戦後は全日本剣道連盟の設立育成に努力され、後にその第5代会長としてご逝去になるまで剣道界の隆昌に貢献されました。また、剣道の国際化にも格別のご尽力をされて、世界各地を廻って世界剣道連盟を設立され、その会長でもあられました。

旧制高松中学は、スポーツでは野球や柔道で全国に名を高めました。大島さんや、戦前の展覧試合の優勝戦で名を上げた藤本さんのような名剣士を輩出したことも忘れるわけにはゆきません。高中以来、六高、東大と大島さんの剣道の跡を追った私にとっては、大島さんは常に仰ぎ見る大先輩でした。35年も昔、若い東京地検の検事をされていた大島さんをお尋ねしたとき、「剛毅颯爽」を人間にしたようなお仕事ぶりに接し、剣道を実生活に生かすところなのか、と強い感銘を受けた記憶があります。

お人柄としては誰に接するにもわけへだてなく、頼まれたことで筋が通っておれば直ちに快諾される方でした。1989年東京玉翠会初代会長の平井健吉氏が高齢の故に退任したいと考えられ、大島さんに後任を依頼されたとき、「ある期間お引き受けします」と即座に快諾されたことを思い出します。剣道で鍛えられたその大島さんが、このように早く、突然に逝かれるとは思ってもかけぬことでした。

高松高校の新しい体育館の道場には、大島さんの筆になる「大道坦々」の額が掲げられています。お好きな言葉だったと思いますが、この言葉はまさに大島さんのご生涯を物語るにふさわしい言葉かと存じます。

今日までのご指導に感謝申し上げ、ご冥福をお祈ります。

特 集

- ① 「高松高等学校百年の歩み」
- ② 「随筆」

わが母校も、明治26年(1893)に香川県尋常中学校として設立されて以来、今年で創立百周年を迎えることになりました。

今秋11月には、高松で記念行事等が盛大に行われます。今回の誌面では、この創立百周年を祝う趣旨のもとに、「高松高等学校百年の歩み」と、卒業生の各年代有志による「随筆」(母校の思い出・同窓生との交友・近況など)を特集しました。

なお、資料につきましては、創立百周年記念行事実行委員会の多大なご協力をいただくとともに、写真は、80周年誌、90周年誌、校舎・玉翠会館落成記念写真集等から転載させていただきました。また、随筆につきましては、諸先輩からお忙しいなか貴重な原稿をお送りいただき深く感謝いたします。

卒 業 者 数

(平成5年3月現在)

1	高 松 中 学 校	6,643名
2	高 松 高 等 女 学 校	6,836名
3	高松高等学校全日制	25,685名
4	高松高等学校併設中学校	1,316名
5	高松高等学校定時制(本 校)	1,276名
6	高松高等学校定時制(直島分校)	297名
7	高松高等学校通信制	1,659名
	計	43,712名

(1) 高松中学校の沿革



高松中学校（大正9年卒業記念写真帖より）

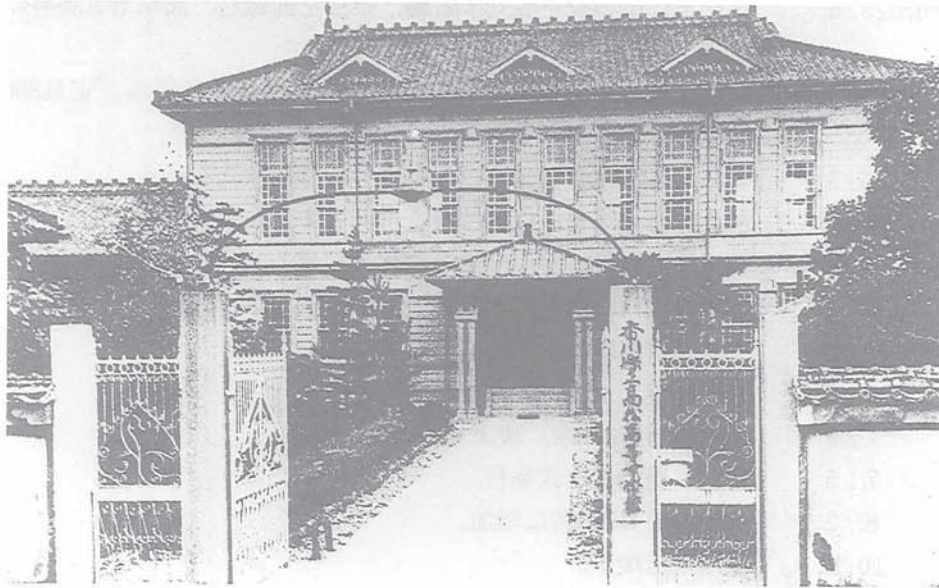
卒業式
卒業式は講堂で挙行された。事前に新聞に成績順に卒業生名が発表された（進学就職先が記載されていることもあった）。午前の挙式のと きもあれば、式典が午後になる場合もあったが、いつの卒業式にあつても、県知事以下の県のトップクラスが出席され、厳粛なかで卒業証書・成績優秀賞・品行方正賞・皆勤賞などが授与された。
菊池寛は、明治四十一年三月（第十三回）にトップで卒業された。この頃、成績優秀なる卒業生には、東宮殿下行啓記念の下賜金をもってつくられた「文鎮」と「英語辞典」が副賞として与えられ周囲の注目をあつめた。

校舎建築
尋常中学校の設立が決まると、ただちに用地買収、そして校舎建築にかからなければならなかった。用地は、松平家より六千余坪、高松市より約五百坪の寄付をうけたが、校舎の建築にあたっては県が「日本土木会社」に工事を依頼した。地元の材木商や建築業者から「地元の業者無視」「入札制にせよ」などを理由に県庁に抗議が申込まれた。実は既に開校していた師範学校の校舎建築の際に地元の業者に工事を請負させたが、業者相互間に疎通が計られず工事がおもうように進まなかった。この反省に立って、県は業者を一方的に指名し工事を進めようとしたのであった。
結局、今後の工事は「入札制を採用」することを約束して校舎建築を軌道にのせ一年の短かい工期、二万一千余円の費用で六棟の校舎が完成し、明治二十六年五月の開校に至った。

・沿革

- 明治25.5 高松市に中学校を設立する議、県会を通過し、高松市五番町に起工。
- 26.3 文部大臣より開校認可、香川県尋常中学校と称する。定員300人、10学級。
- 26.5 香川県尋常中学校設立、同年6月4日開校式を行う。
- 27.5 創立記念式挙行、以後これを恒例とする。
- 31.4 香川県立高松尋常中学校と改称。定員600人、15学級。
- 32.4 香川県立高松中学校と改称。
- 大正4.11 記念図書館開館。
- 4.9 校歌制定。
- 7.3 武道場（123坪余）竣工。
- 7.5 創立25周年記念式挙行。
- 8.2 生徒の定員700名に増加。
- 10.12 校内水道竣工。
- 11.4 生徒の定員1,000名、20学級。
- 12.5 創立30周年記念式挙行。
- 12.11 講堂（133坪余）新築竣工。
- 13.7 プール竣工。
- 15.3 学級増加にともない本館全てを2階建とし、校長室、教員室、事務室、宿直室等の模様替えを行う。
- 昭和4.3 奉安殿竣工式。
- 8.5 創立40周年記念式挙行。
- 10.9 武道場、新築落成。
- 13.5 創立45周年記念式挙行。
- 15.3 中学校の入試に学科試験廃止（口頭試問と体力検査）。
- 17.4 定員1,250人、25学級。（高中最終定員）
- 18.5 創立50周年記念式挙行。
- 20.7 戦災のため校舎焼失。
- 21.4 分教場を香西、弦打、川岡、平井、屋島に置く。
- 21.12 旧敷地に6教室落成。
- 22.3 分教場を廃止。
- 22.5 旧敷地に更に25教室落成。
- 23.4 新学制実施により、香川県立高松高等学校と改称し、通信制課程を併置。

(2) 高松高等女学校の沿革



高松高等女学校（大正期の写真帖より）

制服——和服から洋装へ

創設期の女学校の服装については、色合い・柄・生地等についてむつかしい規定はなかった。おしゃれをしたい娘盛りの生徒達であり、また当時女学校に通わせられる家庭の子女の集団であったので、服装は華美に走りがちであった。

進徳女学校から一〇年目の明治三十三年（一九〇〇）三月の卒業式にはじめて生徒に袴を着装させ、女学校生徒として自覚させた。しかし、華美な衣裳になってゆく様相に歯止めとはならず、学校としても真剣に対策を考えなければならぬ時を迎えた。

明治四〇年四月、本校教育の柱である「質素の本質に迫るため」として、髪飾りは一切用いないこと、衣服に関しては掛け襟・袖裏に絹地・色模様を禁止、袴は木綿地のみ許可、羽織りは禁止を命じた。

このとき、袴の裾に一本の白線をいれた。この白線一本が県女の代名詞「ワン」の呼称の因になった。筋向いの高中生徒の間から生れたものといわれていた。この白線一本が在學生に自覚・自信・誇りをうながすことになり、県女の生徒としての連帯意識の高揚にも役立った。

大正時代に入ると、日本の近代化は日常生活の細部におよび、生活改善規制同盟会（東京）とその地方支部が率先して衣食住など身近な生活改善の宣伝普及に努めた。その結果、「住」の分野では、「文化住宅」が誕生し、「衣」の分野では文化住宅のなかでの日常生活に合った機能的・活動的な洋服を着用することが多くなってきた。

県立高松高女では、大正一〇年（一九二一）一〇月二五日の創立記念運動会を機に一斉に洋服を着装することに決めた。市内の洋装店はその調製に追われたという。価格は、普通が八円、上等は十七円五〇銭。後者の注文が多かったようだ。

・沿革

- 明治24.10 讃岐婦人進徳会が私立女子学校設立の許可を得、高松天神前大護寺内に進徳女学校を設立。
- 26.5 香川県高等女学校と改称し、本科、予科、別科を置く。
- 27.11 三番丁東光寺内に移転。
- 30.5 五番丁に校舎新築落成。
- 33.8 「晩翠会雑誌」創刊。
- 34.6 雪持笹の徽章を制定。
- 35.4 県立に移管し、香川県立高松高等女学校と改称。
- 36.7 定員を500名に増加。
- 40.1 定員を600名に増加。
- 大正2.10 晩翠堂（53坪余）竣工。
- 3.9 校歌制定。
- 8.2 生徒定員700名、修業年限は5ヵ年となる。
- 10.10 創立30周年記念式挙行。
- 11.11 皇太子（後の昭和天皇）御台臨。
- 14.4 生徒の定員が750名となる。
- 昭和4.4 行啓記念図書館落成。
- 5.10 校旗奉戴式。
- 6.10 創立40周年記念式挙行。
- 13.9 校舎改築、鉄筋コンクリート3階建落成。
- 15.10 校舎落成、創立50周年記念式挙行。
- 17.4 定員1,250人、25学級。（高女最終定員）
- 20.7 戦禍を被る。
- 23.4 新学制実施により、香川県立高松女子高等学校と改称。
- 23.6 定時制課程を置く。
- 24.2 運動場を南に850坪拡張。

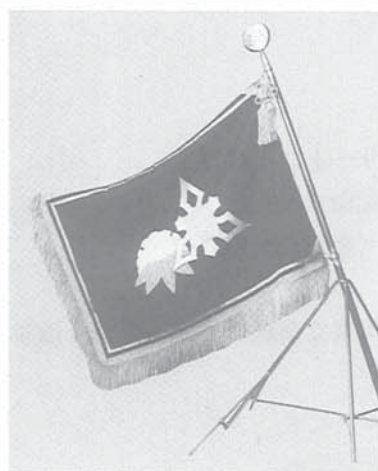


農村での勤労奉仕

(3) 高松高等学校の沿革



高松高校・校舎全景（昭和58年）



校旗
90年史より



男子バスケット部
卒業アルバム（昭和44年卒）より

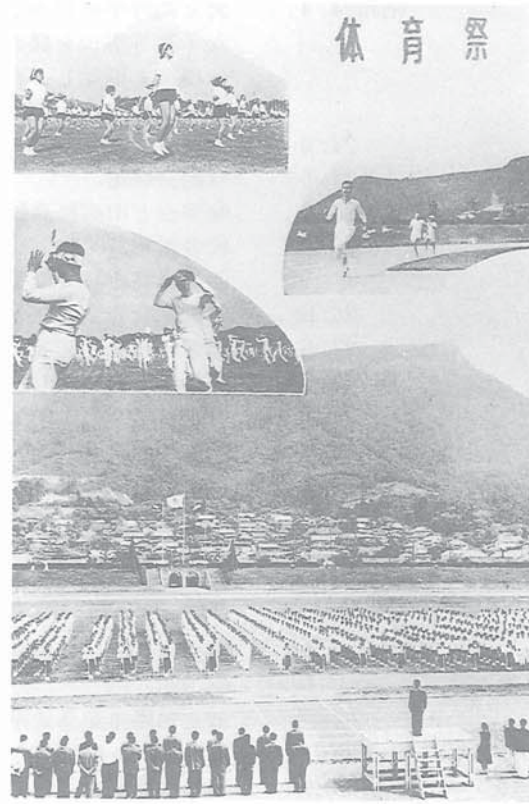
・沿革

- 昭和24.4 公立高等学校再編成により旧香川県立高松高等学校、旧香川県立高松女子高等学校を統合し、県立高松高等学校設置。両校舎において共学の授業を開始し、本部を旧女子高校に置き旧高松高校を西館と称する。普通科1,741名、家庭科30名、定時制173名、通信教育200名。
- 24.6 旧両校 PTA 合同結成。
- 24.9 自治会発足。
- 25.1 晩翠会と旧高松高校同窓会が合同し玉翠会として発足。
- 26.10 校舎増築270.5坪鉄筋3階で9教室完成。
西館を廃止して全員本館に集結。
- 26.12 新校歌発表会。
- 27.5 補習科発足、60名。
- 29.5 運動場を南に603坪拡張。（国有地）
- 30.9 旧香川県立高松中学校跡にある本校西運動場2,589坪の整地完了。
- 30.10 新体育館310坪鉄筋3階落成。
- 31.4 家庭科生徒募集停止。
- 31.10 体育祭。（於屋島）
- 32.4 「自治会のしおり」発刊。
- 33.12 西運動場に旧高松中学校の発祥地を記念する石碑を建立。
- 36.7 プール落成。
- 38.5 新校舎（南館）4階建て7教室落成。急増第1期工事。全国高校進学率66.8%。
- 38.12 創立70周年記念式挙行。
- 39.3 本館北棟4階増築（教室7）竣工。急増第2期工事。
- 39.9 課外授業開始。（44年まで）
- 40.1 本館西棟4階増築。急増第3期工事。
- 40.4 全日制生徒ピーク2,805人。
- 40.8 運動場トラック整備。
- 42.4 食堂問題から昼食時外出許可。
- 43.4 理数科（定員46名）新設（54年卒まで）。この年学園紛争始まる。
- 47.4 47代生徒会が「白書」を発行。
- 48.9 第2視聴覚教室（L.L）新設。
- 48.11 創立80周年記念式挙行。
- 51.3 主任制度発足。
- 52.4 学区外入学制廃止。自転車通学生にヘルメット着用。
- 54.1 第1回全国共通1次試験。
- 55.3 食堂改修。（昼食時の自由外出禁止）
- 56.7 玉翠会校舎改築推進委員会発足。
- 56.7 PTA校舎改築推進委員会発足。
- 57.2 定例県議会において、高松高校校舎改築の調査費が計上。
- 58.11 創立90周年記念式挙行。
- 62.12 体育館鉄筋3階建2,898.70㎡竣工し、63.1.14落成式。
- 平成3.1 校舎並びに玉翠会館、鉄筋5階建11,928㎡竣工し、3.6.15落成記念式典。
- 5.1 自転車置場並びにテニスコート、鉄骨平屋建屋上人口芝貼1,024㎡竣工。

「体育祭の記録」

第1回	昭和24.10.14	運動会
3	26.10.9	閉祭式後、男子のみのファイアーストーム (18:30~20:30)
4	27.10.2	体育祭となる。
5		女性の体育祭委員長健闘。
7	30.10.13	ファイヤーストーム (17:30~19:40)
8	31.10	屋島競技場で開催。
9	32.5.2	この年から、初夏の運動会。はじめて記念バッジ作成。
10		仮装行列中止。
11	34.5.10(日)	高校体操。先生・保護者も参加。
12	35.5.8(日)	3年男子の民謡おどり加わる。
13	36.5.15	「有意義な体育祭」(スローガン)、ロードレース中止。
14	37.5.16	ブラスバンド特別参加。
15	38.5.16	予選会実施 (生徒の急増)、職員対抗リレー加わる。
16	39.5.17(日)	1,500m 障害競争登場、オリンピックを反映。
17	40.5.13	ロードレース復活。
18	41.5.16	クラス対抗応援合戦。
19	42.5.18	屋島1周 (12km) ロードレース、女子も参加。
20	43.5.9	フォークダンスにジェンカ加わる。
21	44.5.14	日の丸旗引下ろし事件。
22	45.5.12	民謡おどりに1年女子参加。
23	46.5.11	砲丸投げ中止、飴食い競争登場。
24	47.5.11	砲丸投げ復活、棒倒し (1年男子)、マスケーム (2、3年女子)。
26		ここまで屋島競技場で開催。
27	50.5.1	「いつもと同じでなく、なにか新しいことを」香東川河川敷で開催、球技中心の体育祭。
29	52.5.11	開祭式前に全員グラウンド1周ウォーミングアップ。
32	55.5.1	はちまき、ゼッケン各クラス趣向こらす。
33	56.5.1	男子組み立て体操、女子のダンス。
36	59.4.27	強風の中の体育祭、綱引き。
38	61.5.7	(屋島)
40	63.5.10	ハグシの体育祭、ドッジボール登場。(生島)
41	平成1.5.10	罰則規定を設ける。
42	2.5.9	第5回につづいて2人目の女性委員長健闘。
43	3.5.8	「力」、雨にたたられる。
44	4.5.12	スエデンリレー登場。
45	5.5.12	(香東川河川敷)

体育祭



(昭和37年)



修学旅行1組 (昭和44年卒)

「修学旅行の記録」

昭和27.3.5~	九州 (別府、阿蘇)、2泊3日、2,020円、135名 (3年女子)
29.2.22~	関東 (熱海・箱根・鎌倉・東京・日光) 5泊6日、3,500円、130名、米持参
31.2.20~32.	同上
34.2.23~	2年生、修学旅行 (1泊2日) 実施、(秋吉台と室戸へ) 関東方面、3年女子の最後の修学旅行
35.11.8~	山陰 (米子・大山・出雲大社・松江) 2泊3日、2,000円、484名
37.11.8~	中国路 (広島・宮島・秋吉台) 2泊3日、3,348円、450名
38.11.20~	同上 4,500円
*** 39.10.1	東海道新幹線、営業開始
40.11.16~	同上 (宇野まわり、湯田錦帯橋加わる) 3泊4日、全工程バス旅行
41.11.1~	同上 (前年の逆コース、堀江からフェリーで呉へ) 3泊4日
42.10.31~	40年と同じコース、(宇野まわり) 3泊4日 東洋工業見学
43.11.13~	同上 (帰路は三津浜まわり) 3泊4日
44.11.4~	中国路 (日御崎、松江、鳥取、津山、姫路) 3泊4日
45.11.12~	関東 (富士・箱根・以下コース別一伊豆、鎌倉、彫刻の森) 4泊5日、夜行列車
*** 47.3.15	山陽新幹線、新大阪ー岡山開業
47.10.3~	黒四ダム、志賀高原、白樺湖、富士五湖他、4泊5日、16,850円
48.10.2~	河口湖、軽井沢、霧ヶ峰、白糸滝他、4泊5日、21,000円
49.10.1~53.10	中部・富士コース
	上高地、奈川渡ダム、松本、霧ヶ峰、富士5合、白糸、4泊5日
53.10.10~	同上、3泊4日、38,377円、往復とも新幹線
57.10~	小諸、軽井沢、浅間山、富士
60.6.19~	富士箱根、筑波科学万博、後楽園球場でのナイター観戦
61.10.6~	上高地、白樺湖、箱根、3泊4日、49,000円
62.10	同上 (高山が入る)
*** 63.4.10	瀬戸大橋線開通

「食堂の記録」

昭和25.4	購買部、同窓会の有志の経営にて発足。
26.6	「校内に食堂を設置してほしい」声があがる。
27.2	食堂オープン=定時制生徒の利便を考慮して、40席、300食。
27.5	この頃、パン、うどんを販売、うどん300食。
28.3	食堂盛況、うどん (10円) 売れ行き上々!
29.1	定時制とあわせて、うどん550~600食。
33.11	新築鉄筋3階206坪、うち1階食堂となる。
35.3	食堂より購買部が独立。
36.1	食堂模様替え (いす、机の新調)、「メニューを増やして!」の声あり。
38.12	うどん18円、「2限後から営業してほしい」の声あり。
40.12	てんぷらうどん (25円) 加わる。
43.5	うどん (28円)。
46.10	ウォータークーラー、2台設置。
47.5	パン値上げ=カツパン、コロケパン、ホットドッグなど25~30円。ウォータークーラー、6台になる。
47	すうどん25円、てんぷらうどん35円。
48.1	ちらしすし、サンドイッチ加わる。
48.2	共に50円。お茶はセルフサービス。
48.5	すうどん40円、いなり55円。
48.6	自動販売機 (コーラ、ファンタ、スプライト、牛乳) 紙コップで40円。
48.9	いなり55円。
50.4	菓子パン45円、調理パン60円、てんぷらうどん (てんかす) 50円。
51.4	うどん60円、大盛120円、すし70円、菓子パン45円、調理パン60円。
51.5	食券 (5食つづき) 試行案がだされる。月見うどんあり。
53.5	購買部、西玄閣へ移転。
54.4	外食禁止令がだされる。チキンライス、カレーが加わる。
平成3.1	新校舎内に食堂を開設。(うどん大180円・小100円、おにぎり100円、菓子パン80円・調理パン100円など、購買部併設)



新校舎、食堂

香川県立高松高等学校

創立百周年記念行事等について **趣 意 書**

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から、玉翠会の活動にご理解、ご協力をいただき、感謝いたしております。

本校は、香川県尋常中学校として明治26年に高松市五番丁に、また、進徳女学校として明治24年に高松市天神前に創立せられ、その後、それぞれ香川県立高松中学校、香川県立高松高等女学校となり、さらに昭和24年に両校を統合して今日の香川県立高松高等学校と称せられて、百年の星霜を閲しました。この間、4万余名の人々がこの学舎において、その青春期に心身を練磨し、真理の探求に努めたのでありますが、その足跡を尋ね、さらに新たな未来への発展を期して、ここに創立百周年を記念することは、誠に喜ばしいことであります。

本校創立以来の百年は、わが国がようやく近代国家としての体制を整え、やがて列強に互してゆこうとする道程から、次第に世界大戦に突入し、幾多の苦難を経て、戦後の復興と繁栄を迎える時期にあたります。この時代に、本校を支えたものは、至誠一貫といい、良妻賢母といい、好学進取、自主独立とやってきたものでありますが、そこで変わらないものは、中等教育界において名門としての地位と幾多のすぐれた人物を輩出してきたことであります。これは、学校を指導された歴代の校長、旧職員、ならびに関係者多数の方々の努力と、純真に道を求めた生徒とが一体となって高高スピリットともいふべき伝統を形づくってきたところによるのであります。

人生はいつも青春であるといわれます。とりわけ、その荒々しい矜持と焦燥の時期をふりかえり、それを懐かしい年として自分を確かめてみたいものであります。これを機に、次のような企画が進められており、代議員の方々を中心に会員諸兄姉のご理解とご賛同を求めて参っておるところでございます。

ここに、実行委員会を代表し、母校の創立百周年を祝すとともに将来に向けて母校の伝統が新しい力をえて発展していくことを期待して、会員諸兄姉の積極的なご参加をお願いする次第であります。

平成5年2月吉日

香川県立高松高等学校 創立百周年記念行事実行委員会

玉翠会会長 大西潤甫
PTA会長 国東照美
学校長 杉岡保之

玉翠会 会員各位
PTA 会員各位

記

- 1 記念式典 平成5年11月27日(土) 午前10時より
会場 高松高等学校体育館
- 2 記念祝賀会 平成5年11月27日(土) 午後2時より
会場 高松市総合体育館
会費 6,000円
- 3 記念誌「高松高等学校百年史」発刊
A4版 約500ページ
平成5年11月発刊予定
予定価格 6,000円
- 4 記念音楽会「リードとアリアの夕べ」
平成5年11月26日(金) 午後7時開演
会場 香川県県民ホール
出演者 原田茂生(26年卒)東京芸術大学教授(音楽学部学部長)
林 康子(37年卒)オペラ歌手(イタリア在住)
入場料 4,000円
- 5 百周年記念モニュメント
百周年を永く語り継げるよう、モニュメントを残す
建造物とは限らず、無形の物も含めて、アイデアを募集する
1口2,000円 百周年記念行事への全員参加を旨とし、募金を募る
- 6 「第九、響け歓喜の歌」
平成5年8月22日(日) 午後2時開演
会場 香川県県民ホール
ヨーロッパから歌手を招待し、生徒・卒業生・保護者等によるベートーベン第九交響曲第四楽章の大合唱の会
入場料は無料。参加費は楽譜代等の実費
- 7 備考
※ 詳細については、玉翠会会員各位には、「玉翠会報」でお知らせ致します。
※ 実行委員会 事務局
高松市番町3丁目1ノ1 香川県立高松高等学校内
電話 (0878)31-7251

随 想

前田 フミ (昭和8年卒)

今年が高松高校創立百周年を記念する目出度い年です。私の一族もこの百年の間に大勢の者がお世話になりました。母の姉弟3人が明治卒、叔父と義兄が大正卒、昭和卒業が私達姉弟5人とその伴侶、息子真鍋功(昭和31年卒)甥や姪の伴侶も数人高卒。現在は全員東京近辺に存住して居り、先日両親の法要を弟井上誠(昭和9年高中4年終了)が営み一堂に揃った時は、話は玉翠会の小同窓会のようなものでした。

その上私は終戦後の県女時代から高松高校と、前後合せて13年間教鞭をとり、懐かしい思い出が次々に湧いてきます。

女学校入学時の担任は体育の上野先生でした。先生の奨めでバレーボール部に入部したものの、父に「女の子が」と反対され、2年位で退部しました。然し、試合前になると狩り出され、根が好きなので家に内諸で暗くなるまで練習をしたものです。都合の悪いことに、私の女学生時代は姉か妹のどちらかが一緒に在籍していたので、私の帰宅前には「また残って練習を」と母に注進がはいっている始末でした。この時のバレーボールが教員時代に役立ち、生徒と一緒に楽しんだのは勿論、香川県教育委員会に勤めた時は、県庁の女子職員でバレーボール部を作り、県外遠征にも出かけました。

昔は校内プールなどはなくて、水泳は大的場海水浴場で学校毎に時間を定めて泳ぎました。私など毎日炎天下を往復1時間半位歩いて泳ぎに行きました。玉翠会前副会長、岡野美代子さん(昭和7年卒)等水泳好きな方達と、毎年遠泳で女木島や屋島の長崎の鼻から大的場まで泳ぎ、振舞の甘酒を御馳走になったものです。3年の時水泳部を作りましたが、正式の練習は夏休み中の高松高等商業プールを借りていたしました。これもまた学校に勤めて生徒と部活動で津田や屋島山麓の湧元等へ、泳ぎに出かける楽しみを得ました。

戦後母校に昭和21年から勤めましたが、当時は高松空襲後の校舎復興、運動場拡張のため飯原好市校長の下に、全校一丸で取組んでおりました。現在校地の南の方は住宅で知事公舎や女学校創立者岡内清太や屋敷が建ち並んでいました。それらを買収したり、代替地を探したりの苦労があり、資金の一部調達のために、生徒達の移

動演劇団を作り、トラックでの地方まわりをしました。

昭和21年秋、県女開校55周年記念に第1回文化祭を催し、その後高校へと毎年続きました。物の不足な時代で、バザーをすることになり、私は家庭科教員でしたから、原料を集めるのに苦勞しました。生徒達も泊まりがけでおでんやおぜんざい作りに大わらわでした。大変な好評で苦勞が大変だただけに気をよくしたものです。

同窓会々員の御活躍の思い出の一つとして、私は昭和25年から31年まで高高から香川県教育委員会教育主事として勤務しました。その頃は進駐軍の指導が厳しく、ジョンソン女史との交渉には頭を使ったものです。男女同権とか、讃岐時間等面白いエピソードが数々あります。昭和28年香川県教育委員公選の時でした。全県1区で委員5人を選出します。婦人の地位が余り認められていない時代でした。県女、高高を通じて36年間数学教員であられた恩師山西シゲノ先生に立候補をお願いしました。選挙運動は、晩翠会々員が燃えたのは勿論のこと、玉翠会々員、そして当時私は全県の婦人団体指導を受持っていましたので、これらが一体となつてのぞみ、最初の女性教育委員を素晴らしい最高点で当選させることが出来ました。本当に感無量でした。その折の教育委員に湯浅克巳先生(高中大正15年卒)も御当選なさいました。

月日の経つのは早く古い話になりましたが、百年のなかの一駒を作ったことを今では感謝しています。此の頃は讃岐弁の飛ぶ和やかな東京玉翠会に出席し、若い人達の仲間に入り故郷を懐かしんでいます。

駄句の中から

「老いてなほえにしに集う桐の花
ふるさとの港近しや鳥雲に」



高女、運動会風景(昭和5年)



思い出の数々など

増田 正敏 (昭和12年卒)

思い出はいろいろある。今となっては、少年時代の淡き記憶の一齣一齣が懐かしい。

先づ、入学時のこと。今更自慢たらしくて、嫌味でさえあるかも知れないが、成績トップで入学し得たことは、唯一の亡父（入学後20数日で死亡）に対する孝行だったことである。この事実を父が知って、非常に喜んでいただということだったから。

次は、ロス金、白井金太郎先生のこと。白井先生は特別の風貌をもった漢文の先生だったが、いつも我々にお前達は学校へ勉強するためでなく、飯を食いにきているだけみたいだというお叱言を頂戴していた。ところが或る日、3時限授業の終わった時点で、先生が弁当を持って、のこのこと教室に入って来た。これは担任の先生が、昼時間には、教室で生徒と一緒に食事することになっていたからである。その瞬間教室全体が、やあいー、やあいー学校に弁当を食いに来ているのかという野次で満ち満ちた。というのは、4時限授業終了後昼飯の時間になるのに、勘違いしてやって来たからである。

第3にマンドリンこと、小西善次郎先生について。先生は旧制一高出身の異色ある英語の先生であった。鋭くて、時には皮肉たっぷりの批評を交えながらの授業は大変興味があった。そしてめったに褒め言を言う先生ではなかった。その先生にたまたま褒められたのである。これも自慢のひけらかしと思われるかも知れないが、今にして印象から消えないので書いておく。ある学期末の英語の試験問題の英作文応用問題で、take for granted という熟語句を小生だけが答案に書いたが、これは真に適切なる使用法であると褒められた。前後の文章の詳細は覚えていないが、この先生に褒められた喜びは今も思い出される。

第4にカポネこと、岩佐正先生について。この先生も東大出の国語の先生で、神皇正統記の註を岩波書店より出版していることなど聞かされていた。これも自慢の一つになって恐縮だが、この先生が教師になってはじめて国語の試験で100点満点を出したのが、私だったと言われたこと。これも忘れ得ない若き日の誇りである。

それから、中学時代、野球部に入り甲子園に出場したこと。昭和9年の夏の第20

回中等野球大会に参加し、球友三好（早稲田大学で大活躍した名選手）をはじめ樋笠（巨人軍で活躍）脇（現高松市長）等と青春時代を謳歌したことも貴重な体験だった。特に対関東中学戦で、延長10回、小生のサヨナラ打で勝利をおさめた時の最後の一球のインコーナよりの球筋は今もはっきりと脳裏に浮かぶ。

更に思い出すことといえば、その年の新任教師胴上げのことだ。秋季運動会終了の間際閲兵式の前、新任先生の胴上げが年中行事の一つとして行われていた。今年も誰先生だとうわさが流れ、その当の先生は運動場に現われることが出来ないで逃げ回っていたこと、それでも何かの具合でとっつかまって、胴上げ行事が行われた。

加齢につれて、生、病、老、死の人生の根本問題に些かながら取り組んでいる。遠く学生時代より仏教に関心があり、仏教研究会にも参加して、今でも不十分ながら探求をつづけている。人生とは何か、人生の価値とは、人生の幸福とは、何かを求めつつ毎日を有意義に生き度いと思っている。

最近一線より引退し、第二の人生を始めた。今迄に取り残したこと、やり度いことをやり、毎日充実した生活をするに深い喜びを感じつつ。



雲中軒河童亭

宮井仁之助（昭和14年卒）

高松で発刊される百年史にも寄稿しましたので、東京玉翠会の方には軽い話題を提供して楽しんでいただきましょう。

高中時代に、後年感謝した数多くの恩恵を受けました。生涯を通してのよき先輩や友人を得たこと、スポーツを通して得た健康や精神力などの他に、私の場合はきちんとした英語力の基礎を与えられたことを挙げねばなりません。上級学校においてドイツ語に宗旨変えした私が、今では生産性の国際技術移転で世界中を駆け巡り、英語で議論したり、原稿なしで1、2時間の講演ができるようになったのも、高中4年間に小西先生や人見先生によってしっかりした英語力の基礎を授けていただいたおかげにほかなりません。

しかしその後も苦勞や失敗がなかったわけではありません。特にL音やR音の区別、ロンドンのコックニー英語やインド人の発音の聞き取り、また文章を書くときの冠詞の用い方などは、今でも苦勞のし続けです。

30年近くも前のこと、ロンドン在勤中、コックニー英語のお茶はこびのおばさんに手古ずった思い出があります。毎日午後、事務室にトローリーを押してお茶とビスケットを届けてくれるおばさんの最初の切り出しの言葉がどうしても判りませんでした。普通の会話はできるのに、と2、3ヶ月努力しましたが遂に諦めかけた或る日、突然彼女の言葉が「雲中軒河童亭」と聞こえたのです。そうすると文字にして、“Wont you come and have a cup of tea?”となるのかな、と思い当りました。時にはこれが「鴨南蛮河童亭」にもなります。これは“Come on and have…”と変化したときです。とにかく1年ほどこの河童亭女史とつき合いました。

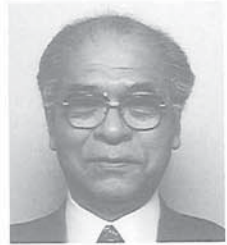
今日では行き届いた教授方法や辞書が揃っていて、外国語の学習に至れり尽くせりですが、明治初年の頃の外国人と日本人のコミュニケーションの苦勞は大変なものでした。「アリマス、アリマセン、アレハナンデスカ」は、有名なシェークスピアのハムレットの“To be or not to be, that is the question”の本邦最初の訳文です。外人居留地のあった横浜では「ハマ言葉」というものが生まれました。例えば犬のことは「カメ」。これは外人が犬を“Come on!”と呼ぶのを聞いたからです。高松

でも昔、洋犬のことを「カメ犬」といっていましたが、ここからきたのではないのでしょうか。

ハマ言葉の傑作は「浜千鳥」でしょう。これは当時の人力車夫の間ではやった和製英語です。“How much dollar?”と料金を聞かれたのが「浜千鳥」となったものですが、横浜だから浜千鳥とはしゃれています。終戦後も同じことがありました。東京のタクシー運転手は「眼鏡橋」と聞けば黙ってアメリカ大使館に向かいました。American Embassyを眼鏡橋と発音できれば、アメリカ人なみの発音とうぬぼれてよいのではないのでしょうか。カンと経験だけでもコミュニケーションは可能でした。

発音で苦勞するのがRとLの差です。これだけは高中でも習得できず、永らく苦勞しました。そして私なりに解決方法を見出しました。本当にR音よりも、短母音の後のLの発音が日本人には難しいのですが、L音の前に軽い「ア」を入れれば大ていの場合ドン・ピシャリ相手に通じます、例えばHill（丘）は「ヒル」ではなく「ヒアル」。私が永らく勤めた石油会社のシェルは「シェアル」。こんなことを高中時代教わっていたらなあ、と思うこともあります。

しかし言葉はコミュニケーションの一つの手段にしか過ぎません。洋の東西を問わず、最も優れたコミュニケーションは心と心、人間と人間の気持の通じ合い、すなわち相互理解と信頼であることを日々痛感しております。



高中の百番

村尾 清一 (昭和15年卒)

「^{なかちゅう}高中」に私が在学したのは、昭和10年春から15年春までの5年間でした。

1年生の終りごろ2・26事件が起り、3年生のとき日中戦争が始まりました。5年生のときノモンハン事件と第2次世界大戦が勃発し、昭和史でいう太平洋戦争には、まだ突入していませんでした。

当時の高松は、人口10万のきれいな城下町で、屋島、栗林公園より野球が強いので全国に知られていました。

私は香川郡直島で生まれました。直島は保元の乱(1156年)に破れた崇徳上皇が一時滞在された島ですが、三菱鉱業(現三菱マテリアル)の精練所があります。

当時の船で島から宇野(現玉野市)へ15分、高松へ1時間余りと、岡山県側に近かったのですが、香川県なのです。そこで中学は高松にしましたが、最初、1年の1学期は、宇高連絡船で通学しました。

朝5時ごろ起きて、帆船で宇野へ渡り、1番の連絡船で高松棧橋に7時半ごろ着き、歩いて五番丁の東門から入り午前8時の始業にのぞむ毎日でした。帰りは3時半ごろの連絡船に乗って宇野経由で夕方6時前に帰るのです。父が小さな船会社(宇野、高松、坂出、岡山行)をやっていたので、私が寝過ぎて遅れたとき、直接連絡船の棧橋に船を着けて私が棧橋を走り、船員が出入口のハッチをあけて待ってくれたので間に合ったこともあります。

ただ、瀬戸内海が霧に閉ざされた朝は、どうしようもありません。連絡船は、出航しません。やっと出航しても汽笛をならしながらのろのろと進むので、学校の始業時間に間に合わないのです。そんなことで私が1年東組の教室に着いたら、教室はからっぽでだれもいません。体操の時間だったのです。

島育ちの少年だったし、生来ぼんやりしていたので黒い油を引いた廊下にしょっぽり立っていると頬がぬれてきました。すると、柿色のツメ襟の服を着たおじいさんが、私の側へ来て、どうしたのか?と聞くので「連絡船が遅れて…」と答えたのも涙声だったと思います。そのおじいさんが横田宗直校長で、しおしおとした1年生の私を連れて、体操の先生に事情を話してくれました。

高中にはその数年前まで寄宿舎があったのですが、寄宿舎はほとんど小豆島出身で、小豆島中学校ができるとたいいそちらへ行くので高中の寄宿舎は廃止されたそうです。

高松に下宿することになりましたが、東浜のラムネ製造業者の2階。(後年その家の娘がミス高松になりました)ホームシックにかかったのは1日だけでした。

高松での生活に大分馴れた1年の終りごろ11年2月10日、高中の第13回(明治41年)卒業の菊池寛が母校の講堂で講演しました。戦国武将の話や高中時代の思い出などを千人の在校生が私語をせずに聞きました。菊池は文壇の大御所といわれ、流行作家でしたが、家が貧しかったので高等小学校4年(今の中学2年)まで行って旧制高中へ入ったそうです。成績はずっと10番ぐらいでしたが4年で1番になりました。

「人間、一度でよいから1番になること。生涯自信ができる。しかし、みんなが1番にはなれない。高中で15番の者は、他の中学では1番だと思えばよい。高中で100番の者だってもう一つの中学では1番だと思え」

筑波大学長になった福田信之氏(昭和14年卒)など、旧制一高でビリになったとき、この言葉を思い出して、本当の1番になったそうです。

灘高の入学者は、付近の学校の主席が半分以上と聞いていても、私は驚きませんでした。

高中で私たちの学年200人のうち123人が小学校で主席だったそうです。主席でないのは付属小と四番丁小卒の者ぐらいなどと言われました。付属や四番丁からたくさん入ったからです。



東京高中50(ゴーマル)会

辻 義文 (昭和20年卒)

私がこの東京高中50会に出席する様になったのが何時頃だったのか記憶にないが、殆んど例外なく年に1回は開かれており、年によっては2回位集ったこともあったような気がする。この会の主旨は、名前の通り旧制高松中学の第50回卒業生(昭和20年卒)で東京又はその近辺に居る者の集りである。指定された集合場所に行くと見覚えのある顔が集っていて幹事から出席者以外の仲間の近況報告があり、次いで出席者一人一人が近況を報告しながら懇親を深める普通の同窓会であるが、会社の同僚等に話すとその集りの良さに驚かれることが多い。しかしこれには中村文俊さんという名幹事が長年に亘り陰で誠に行き届いた世話をしてくれている故であって、中村さんが居なければおそらくこの会は成立しなかつただろうと思う。都合の良いことに彼は若い時から自らが設立した会社の社長であったため秘書を持っていたし、電話や事務用品も個人の場合と違った感覚で我々の為にさいて貰えたのではないかと思うが、根は大変な世話好きな人なのであろう。我々の同窓会以外にももっと大きな同窓会の世話もしているらしく、何時か秘書に電話をしたら「どちらの同窓会の方ですか。」と質問されたことがあった。そして名幹事たる所以は、精神的な負担を感じさせないこと、また安月給時代にはそれに適した会場を探して会費が高くならぬ配慮もしてくれることである。私などはその後、この同窓会を開いたお店を使わせて貰った経験も多い。そして本人は2度も生死の境をさまよう様な大病をしたが未だに続けてくれている。我々にとっては誠に有難い幹事である。

次にここ数年来の同窓会の傾向であるが、大分年をとって(大部分が65、66歳)現役を退き時間に余裕が出来た仲間が増えたこと、また現役で頑張っている仲間にも時間と共に経済的にも余裕が出来てきて次第に参加者が多くなっているように思う。

東京高中50会には、近年子供さんが東京に居るので孫の顔を見がてら参加される人もいる。奥さん連れや娘さん連れの人も出てきた。さすがにお孫さんで来た人はいないが、その内そんな人も出るかも知れない。前回の同窓会は夕方から夕食をとりながらの懇親会を1日目にして、翌日(土曜日)に希望者のみでゴルフのコンペ

をしたが、このコンペに3組の御夫妻の参加があり、3組とも奥さんのスコアが御主人より圧倒的に良いという、誠に愉快的仲間が多くなった。仕事の話よりも健康のことや子供さんやお孫さんの話の比重が高くなったが、それはそれでまた楽しい話の種になっている。別れる時に体に気をつけて元気でまた会おうと言って別れる年齢になったが、若い時の或る時期を同じ中学で過ごしたというだけで何の利害もなく親しく酒をくみかわすことが出来るとは、何とも有難い仲間である。

戦争をはさんでの頃

手島 芳子(旧姓・池内) (昭和22年卒)

昭和22年、女学校卒業まもなく、焼けあとの高松から一面焼野原の東京に移り住んで40年余一。

思えば戦争一色のなか、一端の軍国少女だった私には、外から一挙にやって来た民主主義にどう切替えたらいのか、戸惑いながら日々の暮らしの変化のなか精一杯生きる事にあけて参りました。

女学校へ入った時のセピア色の1枚の写真。私もそうですが附属・国民学校の制服姿やセーター姿もまじる幼な顔の、それでも皆スカートを穿いてこれ1枚だけ。あとは何枚かあるのはすべてモンベ姿、そして制服もあの白い衿カバーはなく、へちま衿のベルトの国民服や下駄ばきの人もいます。

あこがれの県女生活にやっと馴れた2年生の時、英語は敵性語だからと撰択制となり学年5クラス中、英語組は1クラスだけ。学年全体の体操の時間に壇上からあのぶつつあん(ごめんなさい)に、敵国語ばかりできても体操ができなければ何の役にも立たないといわれ、英語の青木先生の所へ行って泣きながら心の隅ではちょっぴり女学生らしい誇らしきも感じた14歳の思い出。

3年になって忘れもしないあのクラヒ——倉敷飛行機(今の倉紡は戦争中軍需工場として木製の飛行機を作っていました) 動員学徒として働いた日々。勿論国民服にモンベ、肩から布の袋をさげ、まるで桃太郎の様に日の丸を額に鉢巻をしめて毎朝7時50分には工場の門を入るのです。夏はともかく冬の7時50分はとても辛く、星をいただいて家を出ました。

——銀翼つらねて南の前戦
揺るがぬまもりの 海鷲たちが——

これは「ラバウル航空隊」の一節です。

——きたぞ、獣が鬼が
土足かけたぞかみぐに——

「鬼畜米英雲滅の歌」 その他勇ましい歌の数々。

朝晩工場の出入は手をふり歩調をとって大声で歌いました。懐かしいと決して言



いたくはないけれど、これらの歌はしっかりと身体に沁み込んで40年経た今もフト、口をついて出て来ます。「清き心を守らん乙女われ」と歌う日々はまるでありませんでした。

そして、空襲——敗戦——。

20年9月、4年生の2学期からは動員学徒でなくなり学校生活が始りました。高松も市民も焼けて、私達は一宮の学校で間借りの暮らしです。高松の本校は県庁に接収され、僅かの教室が女学校として使われていました。5年になった時三井貞子さん(20歳過ぎで病死された方)と語らって知事さんの所へ学校が泥だらけで悲しいこと、少しでも沢山教室を返して欲しいとお願いに行った事も思い出します。21年の3月には多くの友達が4年で卒業していき、5年生は1クラスになりましたが、勉強する事は殆どなく、進駐軍がやって来て英語だのソロバン・簿記、1年程度の数学等、妙な取り合せの勉強やクラブ活動のまね事などしたのでしょうか。本当に女学校の5年間、何をしたのでしょうか、元気で生きてこられたのが有難いというべきなのでしょう。

その後、東京で幾つかの仕事のあと人形劇団プークという所で人形劇の仕事に携り、結婚し、子供を育て、つれあいに先立たれ、子供達も成人し、そしてまた一人になりました。年相応にくたびれはありますがお蔭様で健康に恵まれ、まだ仕事も——舞台からは離れてスタジオ・ノーヴァという所でテレビの人形劇の仕事を少しづつやっております。

これからは多くの先輩の歩かれたあとを私にとってははじめての「老い」に向けてゆっくりと歩いていくつもりでおります。



いつか書きたい「小説・高高時代」

西村 秀俊 (昭和29年卒)

昭和27年(1952)春、僕らは高松高校2年生。朝鮮半島では戦争が続いていた。アメリカは日本を独立させて、西側の一員に組み込んだ。文部省は、さっそく学校の体育に剣道を復活させた。米占領軍が戦勝の興奮のなかで与えてくれた夢想的デモクラシーの甘美は、かき消えようとしていた。16歳の僕らには、まだ実感が無い。7年前の夏、天と地がひっくり返って降ってきた「自由」の気分、たっぷりと浸かっていた。

当時からすでに突出した進学校の高高ではあったが、高卒者全体では進学率10%のころだ。卒業したら就職する予定の者も多かった。なのに1年の授業から「トーダイに受かるには…」「トーダイの試験では…」ばかりいう先生がいた。就職組には、ふつふつとこみ上げてくる思いがあった。「俺たちには高高時代が残された自由の時全てなのだ。こんな日々だけで終わりにされてたまるか」進学組のうちにも、似た気持ちの者が少なくなった。「受験勉強だけで3年間過ごすのは、もったいない。ほんとに勉強するのは3年生になってからでいい。二度とない高校時代、なにか思い切り燃えてみたい」

そんなグループが動き出したのが、生徒自治会の会長選挙が告示された時だった。今はどうなっているのか、当時の自治会はかなり幅広い権限を認められており、相当の予算も使えた。校歌にいう「わが高高の自治を見よ」は、ただの修辞ではなかったのである。仲間の一人を候補に立てて当選させ、執行部をにぎれば、自分たちで「燃える高校時代」を作り出せる。なかでメインイベントは、秋の文化祭。「よし！ やろうじゃないか」話は口から口へ、クラスの壁を超えて、枯れ野に放たれた火のように広がっていった。

3年生が坐るのが当たり前だった自治会長の座を、2年生が手に入れるのはむろん容易なことではなかった。誰を候補に立てるのか選考から、あの手この手の戦術を編み出しての選挙戦。その甲斐あっての、あざやかな当選。執行部の体制づくりが終わると同時に文化祭の構想と準備が始った。ただし、自分たちのやりたいことをやれば、学校当局からの干渉と弾圧がありそうだ。「高校生にふさわしくない」

と。当然、計画は秘密裡に、慎重に進めなくてはならない。ここまでだけでも、スリルに満ちたドラマだった。

いよいよ文化祭が近づいてくる。授業そっちのけで、朝から深夜まで旧校舎3階の自治会室に集ってきた彼、彼女たち。そこに生まれた、いくつもの恋。友情と対立。次第に高揚してゆく気分のなかで繰り広げられた、若さにつきものの屈折ゆえの愚行・奇行の数々。案の定、次々に突きつけられた学校側からのクレーム。それらに対する非壮観いっばいの抵抗闘争。思えば、わずか半年の月日に、なんと夥しい物語が詰め込まれていたことだろう。

クライマックスの文化祭の3日間は、興奮と混乱のうちに、さらに多くのエピソードを量産した。例えば、予想もしない数のお客が押し寄せたために、バザーのぜんざいは途中から水で薄められてどどんたただのお湯に近づいていったし、苦勞して招いた高名な理論物理学者の講演会は、話がむずかしすぎてチンプンカンプンで満員の聴衆の誰も理解できなかった。だが、最後の夜、火災を懸念する学校側を押しきるかたちで決行された校庭での大ファイヤーストームは、僕らの達成感そのままに、高松の夜空を赤々と焦がしたのだった。

井上ひさしに『青葉繁れる』、有明夏夫に『僕たちの行進曲』という小説がある。僕らと同年の2人が、それぞれの高校時代を描いた作品だ。そこにこめられた青春前期への愛惜の情は、まさに僕自身のものでもある。だが、あくまでそこに登場するのは彼らの仲間たちであり、舞台は仙台と福井である。これらを読んだときから「いつか自分も高高時代を小説にできたらなあ」とひそかに思ってきた。「同じ時期、高松にも、瀬戸内の陽光の下、高校生のドラマがあったのだ」と。

新聞記事しか書いてこなかった僕なんぞに、彼らほどの作品を書く力はないけれど、気がつけば僕も定年まであと2年。少なくとも、同期の仲間たちには読者になってくれるだろう。「暇になったら、チャレンジするか」——というわけで、この機会を借りて『小説・わが高高時代』のあらすじを考えてみた次第。

高高法曹会

大西昭一郎 (昭和33年卒)

高中や県女の在京同窓生による東京高中会や東京晚翠会はずんぶんと古くから開かれていたのに、高松高等学校となつてからの卒業生はどちらにも属することなく、せいぜい同期会をもつ期がある程度で、多くの者は寄る辺もなく都会のなかに浮遊していた。

ようやく昭和50年に第1回東京高高会総会がもたれ、しばらく三会鼎立の状態に移したが、東京高高会は57年開催の第8回総会を最後に、58年には東京高中会・東京晚翠会と大同合併して東京玉翠会となり、その総会は年々歳々盛大になってきている。

あらためていうまでもなく、卒業四半世紀目の卒業生が幹事となって総会の一切を取り仕切るため、同期生の横の結束が強まり、それがまた会の隆盛の原動力となっているのである。しかし、他面、先輩後輩の縦の繋がりにやや欠けるところがあるのは残念なことである。

この点を補うため、総会の運営にさまざまな工夫がなされてきたが必ずしも成功していない。究極の夢は「玉翠会サロン」を常設することであるが、ゴルフ会・囲碁会その他の趣味の会を設けることも検討されてよいことのように思えるし、職業別分科会のようなものを作ってもよいのではないだろうか。

高高出身の在京法曹では「高高法曹会」というのを作っている。会長だとか規約だとか面倒なものはなにもない。ただ新しく法曹となった人やメンバーの転出入があったときに集って歓談するという他愛もない会である。私が司法研修所の教官として忙しかったため、しばらく中断しているが、近々再開の予定である。私の把握している消息は次の通りであるが、他に消息をご存じの方があればお教えいただければ幸である。

藤 井 富 弘 (26年卒・12期・弁護士)
 宮 武 敏 夫 (31年卒・15期・弁護士)
 小田原 満知子 (32年卒・17期・裁判官)
 濱 田 清 (32年卒・38期・弁護士)

大 西 昭一郎 (33年卒・18期・弁護士)
 西 川 紀 男 (34年卒・22期・弁護士)
 寺 尾 淳 (35年卒・19期・検察官)
 岡 崎 洋 (37年卒・23期・弁護士)
 内 藤 紘 二 (37年卒・22期・裁判官)
 佐々木 茂 夫 (38年卒・21期・検事)
 佐 藤 武 彦 (38年卒・24期・裁判官)
 山 本 隆 夫 (38年卒・22期・弁護士)
 小 倉 良 弘 (39年卒・25期・弁護士)
 原 啓 (42年卒・30期・裁判官)
 土 居 範 行 (47年卒・44期・弁護士)
 増 田 耕 児 (47年卒・34期・裁判官)
 岡 正 晶 (49年卒・34期・弁護士)
 小 田 幸 生 (49年卒・35期・裁判官)
 久 保 豊 (49年卒・35期・裁判官)
 豊 沢 佳 弘 (50年卒・34期・裁判官)
 三 木 浩 一 (51年卒・38期・弁護士)
 伊 藤 尚 (52年卒・37期・弁護士)
 押 野 雅 史 (54年卒・44期・弁護士)



新校舎・正門

山岳部の頃

高城 修三(若狭 雅信) (昭和41年卒)

入学してすぐ私の目を惹いたものは、E字型になっている本館校舎の中庭に窮屈そうに建つ古色蒼然とした木造建物であった。今にも崩壊しそうな倉庫風の建物は体育系クラブの部屋に使われていて、その一画に山岳部の看板が見えた。つぎはぎだらけの扉を開けると、小さな明り窓が一つあるだけの狭く仄暗い部屋を、進駐軍の払い下げ品かと思わせる登山用具がおどろおどろしく埋めていて、ガソリンと汗の混った臭いがむっと鼻をついた。私はその光景に何やら感動さえ覚えて、ただちに入部の決意をした(このときすでに西門脇の新部室に移転が決っていて、間もなく中庭の旧部室は取り壊されてしまった)。

高松高校山岳部は私の入部する5年前にできた歴史の浅い部であったが、顧問西村先生の強烈な個性を映して、行儀のよい名門進学校らしからぬ無類の気風が色濃くただよっていた。おそらく、中庭の旧部室時代につちかわれたものにちがいない。

我慢の限度を試すような苛酷なトレーニングはともかく、大きなリュックにコンクリートブロックをつめて本館屋上まで往復をくりかえす訓練にかけつけ、男女生徒が屋上でスケアダンスの練習に興じている中へ登山姿のむさくるしい一団が割って入ったり、新入生歓迎登山ではリュックに砂袋やブロックをつめてぶっ倒れるまで歩かせるのが恒例になっていたのである。部室の床にはウィスキー瓶が転がっていたし、休み時間に山岳部の部室の窓から紫煙が流れ出すこともめずらしくなかった。私に限って言えば、現代詩の学内誌を発刊させろと教頭先生に直訴状を出して物議をかもしたり、バイクの無免許運転がバレて謹慎処分をくらったりもした。若気の至りと言えばそれまでだが、当時、受験体制一色となっていた高校生活への若い反発も確かにあったと思う。

登山にも競技大会があり、私の1年先輩は初めて四国大会に出場し、私の学年はインターハイ、1年後輩は国体出場を果たした。それも全国レベルの大会に出場すれば部活動費や装備を充実できるという打算からの参加であった。なかなかの曲者ぞろいだった部員たちは、登山が競技スポーツであることをよしとしなかったのである。私にしても、2年の夏のインターハイ出場は気乗りせず、奈良大峰山の山行

にはいつもの充実感がなかった。

あのころ、山に登ることは、それ自体が理想の何かであり、情熱そのものであった。自分の限界を試すように激しいトレーニングに没頭し、山へ登ること、重い荷をかついで自分の足で山頂に至るという無償の行為に、ひたすら熱中したのである。

しかし、二年のインターハイ以降、私には山へ登るという情熱が急速にうすれてしまった。山へ登ってみても、かつてのようなきめきを感じられなかった。あれから30年、住居は京都と大津の市境にある山の上の街にあるが、登山からはすっかり遠ざかっている。今ふりかえてみると、山岳部の頃の精神状態は恋のそれに似ていたような気がする。



登山部・卒業アルバム(昭和44年卒)より



私の近況

熊谷富由美（昭和44年卒）

早いもので慶応大学在学4年間と、就職浪人の1年間を東京で過ごし、やっと念願のマスコミへの職が決まって帰高してから、19年がたちました。

バブル経済時代到来の前に、思いきって購入した1戸建て住宅に住む、平凡な4人家族から紹介します。夫、44歳地元の企業に勤めるサラリーマン。長男中学1年、次男小学3年。そして私は、42歳のおばさん。主婦業失格の部分は、近くに住む母と主人の協力で、今のところ、人並みの家庭生活が送れています。しかし子育てというものは楽しくもあり苦しくもあり、家庭生活の中では一番大きなウェイトを占めているのです。スポーツ少年団、子供会、PTA 其上、円座町という地域では自治会活動にも結構エネルギーを使うものです。

さて、大学時代に文化放送でアルバイトをしていたのがきっかけで、マスコミの自由な雰囲気にあこがれ、（当時はそう思ったのですが）1年間の就職浪人の末入社したのが、西日本放送です。所属のアナウンス部に、今年も一人のフレッシュマンが入ってきました。まだたどたどしくも一生懸命ニュース原稿を読んでいる姿を見て、「私も初心を忘れてはいけないな」と思っています。

仕事柄、毎年春には高松高校合格発表風景のニュースを報道していますが、旧校舎建替えのニュース原稿を読んだ時には、感慨深いものがありました。また、現在ラジオのワイド番組を担当していますが、高高地下駐車場の建設問題で、県側とPTA・OB会・自治会と対立していた時、番組で特集をしました。県の総務部長とPTA会長の国東さんにスタジオに来ていただいて両者の見解・意見を述べていただき、リスナーの方の意見も電話ファックスで聞きました。結果は、建設賛成と反対の割合は3対7で、反対派の意見が大半を占めました。スタジオの電話は鳴りっぱなしで、かなり関心を持って聞いていただけたようでした。しかし、現在工事は着々と進んでおり、このケースをお手本にしたい他の自治体の注目を集めているところです。

諸先輩また後輩の皆様、我々44年卒も、今や親として社会人として責任のある年齢となりました。私の同級生達も、高松でそれぞれの道を頑張っている歩んでいます。帰高の折には、ぜひ西日本放送へお立ち寄りください。

瀬戸内経済圏の中核として 50万都市を目指す・高松

瀬戸大橋の開通、高松空港の国際化、四国横断自動車道の建設、さらに5年後には明石海峡大橋も完成予定。まさに、高速交通体系の変革の真ただ中に置かれている四国の中枢管理都市・高松。今、本格的な（本四）三架橋時代に向けて個性的な都市づくりを着々と進め、21世紀の東瀬戸内海広域経済文化圏における“都（中核都市）”の座へと飛躍しようとしている。

歴史と文化が香る自然豊かな美観都市

人口33万人の典型的な地方中核都市・高松市は、近代的な都市施設がほどよくコンパクトに整っていて、しかも屋島や栗林公園など、歴史と伝統の息吹が都市空間の中に感じられる美観都市である。さらに、現在の高松は瀬戸大橋によって、都市交通、人、物の流れが非常に大きく変わってきており、今まさに高速交通変革の真ただ中に置かれているという状況だ。

高松は、今から約400年前の1588年（天正16年）、豊臣秀吉の家臣生駒親正が城を築いて以来、城下町として発展。江戸時代には、徳川幕府の親藩として領主が中・四国の監察使の役目も兼ね、政治的に重要な地位を占めた。さらに近代になり、1910年（明治43年）の宇高連絡船の就航によって、本州と四国を結ぶ玄関となった。

そうした背景のもとに、高松には中央官庁の出先機関が集中、それに伴って大手企業の支店も数多く立地するようになり、政治、経済の面で他の三県をリード。支店経済都市、四国の中枢管理都市として今日まで発展してきたのである。

そんな高松に、かつてない地盤沈下の危機意識をもたらしたのが、瀬戸大橋の開通だった。四国の人々にとっては長年の悲願の実現であったが、それが皮肉にも、産業レベルで立ち遅れている四国にとっては、本州との人や物の交流が活発化する中で、中央の大手資本に圧倒される危惧を生んだのだ。特に高松にとっては、架橋による時間短縮で立地特性を失い、支店機能が低下して相対的な地盤沈下を招くのではないかと



昨年4月からソウル便が就航。四国唯一の国際航空として機能する高松空港。

いう強い危機感があった。

しかし、開通後まる5年を経過した今、結果的には、プラスの波及効果のほうが大きく、心配された地盤沈下も現在のところない。

瀬戸大橋効果で支店機能が高まる

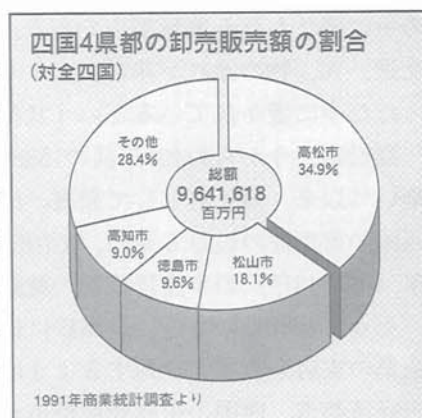
では、実際にそのプラスの波及効果は、どんな形で現われているのか。例えば、観光面では、架橋後高知や松山に観光客が流れるというマイナス面はあるものの、数字的には、瀬戸大橋開通前後のブームをバネに、香川県全体の観光客数は大幅に底上げしている（1987年の年間490万人に対し1991年は816万人）。

また産業面では工業立地の件数も伸びているが、これも架橋による利便性の効果といえよう。

さらに、危惧された支店機能も、上場企業の支店が1989年の約580から、現在は600弱へと逆に増えている。

瀬戸大橋の開通に続いて開港（1989年12月）した高松空港は、昨年4月からソウル便が週3便就航し、四国で唯一の国際空港として機能。東京便も現在1日7便体制で、今後那覇、仙台便の開設促進など、国内路線網も充実しつつある。

支店経済の都市・高松は、人的交流も活発で情報も早く、流行への関心も高い。また、従来から関西経済圏の労働力市場でもある。そうした特性に、瀬戸大橋など交通の利便性がプラスされ、高松のポテンシャルが一段と高まっていることは確かだ。



都心整備事業で新しい魅力を創出

こうした瀬戸大橋効果を背景にして、新たな都市の魅力づくりを目指したプロジェクトも着々と進められている。

高松市は、瀬戸内海国立公園に面するということから、市の未来像を「瀬戸の都・高松」として描いている。というのは、経済的にも四国卸売総販売額の約40%を占め、文字どおり政治・行政・経済の広域的支配力を持った都市であることから、「都」と位置づけている。

具体的に、現在取り組んでいる事業の一つとして高松港頭地区総合開発事業があげられる。これは、かつての“玄関口”を高次な都市機能と港湾機能を持ったシンボルゾーンとして復権させようというものだ。さらに、琴電の駅を核に都市交通の

結節点であり商業・文化の中心拠点の役割を持つ瓦町駅周辺地区でも再開発事業がスタート。最近、琴電とそごうの共同事業による四国一の規模のターミナルビル建設も発表され、軌道に乗り始めている。

もう一つの目玉事業が、旧高松空港跡地に建設中の香川インテリジェントパークである。目下、県の産業交流センターと四国工業技術試験所が建設中であり、さらに香川産業頭脳化センターや民間企業の研究・開発施設などを集積し、先端的な科学技術センターとして開発を進めている。

一方、文化的な環境整備にも力を入れており、1988年にオープンした高松市美術館は、市街地の中心部に位置する芸術・文化の拠点として高松の文化的雰囲気を高めている。さらに、昨年11月にオープンしたばかりの市図書館も、菊池寛記念館や歴史資料館が併設された文化都市高松の新しいシンボルだ。蔵書能力は60万冊で30万都市としてはトップクラス。スペースもゆったりとした滞在型で、市民の憩いの場として非常に利用者も多く、ゆとりある豊かな都市生活を生み出す役割を十分に発揮している。

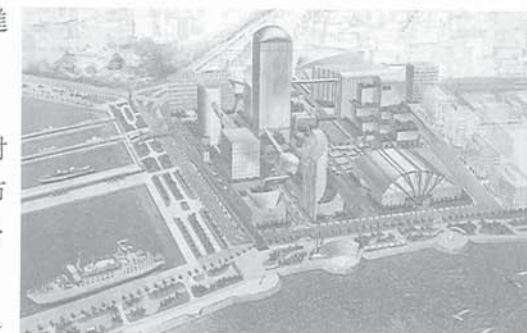
明石海峡大橋をにらんだ交通網を確立

高松市の都市開発事業は、香川県の主要プロジェクトとしても組み込まれており、県と市が一体となって町づくりに総力を傾ける背景には、目前に越えるべき大きなハードルが迫っているという事情がある。それは、1998年に予定されている明石海峡大橋の開通である。これにより、神戸—鳴門間が淡路島を経由して一つに結ばれる。今度は神戸とわずか2時間の日帰り圏として直結するわけであり、瀬戸大橋の岡山との関係とは経済的なスケールも、都市としての求心力も大きな違いがある。

橋の完成に照準を合わせて、高松と鳴門を結ぶ高速道路が今年中に着工予定など、対応策も着々と準備されている。

5年後には高速交通時代はいよいよ本格化しているであろう。それだけに高松市の独自性発揮の基礎構築が一層強力に求められるわけである。

その点について高松市は、「現在進めている都心の整備・拡充を通じて、周辺10町を含む広域都市圏を形成し、将来の東瀬戸内海広域経済文化圏に対応できるスケールを持った50万人都市圏を目指している。21世紀への飛躍を目指す“瀬戸の都・高松”づくりは、まさにこれから正念場を迎えようとしているのだ。



高松港頭地区では、海の都・高松にふさわしいシンボルゾーンを形成するウォーターフロント整備が進められている（イメージイラスト）。

（この記事・写真は、株式会社ぎょうせい発行フォーブス日本版1993年4・5月号による）

高松中学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正4年9月制定)

作詩 藤井 静夫

作曲 安田 俊高

あ - さ ひ か が や く や し ま や ま さ ざ な み  
 よ す る た ま も う ら へ - い わ み な ぎ る そ の ひ び  
 き せ - い き あ ふ る る そ の ひ か り わ が ま な  
 び や に - み ち み ち て い そ し む け ん じ  
 1.2. 3.  
 い っ せ ん よ せ ひ る が へ せ -

- 一、朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響  
生氣溢るゝ其の光  
我が学舎に充ち満ちて  
いそしむ健児一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く  
朝夕あふぐ碑は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男児  
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、嚴冬霜雪色かへぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中学の健児等よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名誉の旗を翻へせ

# 高松高等女学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原 虎一

作曲 内藤 蝶

み れ ど も あ か - ぬ た ま も の う ら - ち
 ひ ろ の そ こ - に し づ - く な る - そ
 の し ら た ま - の う る - は し き - き
 よ - き こ こ ろ を み が か む み が か む を
 1.2.3. dim. 4. dim. rit. - - -
 と - め わ れ - あ と - め わ れ -

- 一、みれども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
清き心をみがかむ
みがかむをとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかにならび立つ
その山松の色かへぬ
高き操を守らむ
守らむをとめわれ
- 三、開くる御代の幸おほき
身にはつとめもさはなれば
うら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむをとめわれ
- 四、いや栄えゆく皇国の、
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむをとめわれ

高松高等学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(昭和26年12月17日制定)

作詞 河西 新太郎

作曲 芥川 也寸志

con brio (♩=108)

せ い き - あ ら た な ひ に は え て      あ さ ぐ も に お う  
 や し ま や ま      お う ま ゆ き よ き      わ こ う - ど が  
 こ う が く の ね ん      ゆ る ぎ な く      は つ ら      つ こ そ  
 1.2.      3.  
 る      い き      を み      よ      よ

- 一、世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おお眉清き若人が  
向学の念揺ぎなく  
澆刺挙る意気を見よ
- 二、平和かがやく波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おお純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ
- 三、仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笹のさみどりに  
おお希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高松の自治を見よ

# 高松高等学校

## 朝日輝く (校友会の歌)

~~~~~\*~~~~~

作曲 荒井 三郎

あ さ ひ か が や く や し - ま や ま さ
 さ な み よ - す る た ま も う ら へ い わ み な
 ぎ る そ の - ひ び き せ い き あ ふ - る る そ
 の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い -
 そ し む け ん じ い っ せ ん よ

- 一、朝日輝く屋島山
さざ波寄する玉藻浦
平和みなぎるその響き
精気あふるるその光
我が学舎に満ち満ちて
いそしむ健児一千余
- 二、厳冬霜雪色変えぬ
紫雲の松を名に負える
我が高松の健児らよ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名誉の旗をひるがえせ

東京玉翠会会則

第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

第三章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 4 名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1 名
- (5) 幹 事 その員数は次条第 2 項の定めによる
- (6) 監 事 3 名

(役員を選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各 1～2 名を選出する。
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
4 常任幹事のうち 1 名を事務局長、1 名を会計担当として会長が指名する。

(任 期)

第 11 条 役員任期は 2 年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第四章 会 議

(総 会)

第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年 1 回開催する。

なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。

2 総会においては、次の行事を行う。

- (1) 会務及び会計報告
- (2) 会員の親睦を図る行事
- (3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議 長)

第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議 決)

第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第五章 会 計

(会 計)

第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

第 18 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終る。

第六章 そ の 他

(顧 問)

第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。

2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

附 則

第 1 条 本会則は昭和 58 年 6 月 25 日より施行する。

第11回東京玉翠会総会幹事を担当して

片山秀樹・長嶋博宣

今年は、わが母校の創立百周年にあたり、今秋11月には、高松で記念行事等が盛大に行われます。東京玉翠会は、これに先立ち、創立百周年を祝う趣旨のもとに、今日、第11回総会を迎えることになりました。我々44年卒がその幹事を担当できたことは大変光栄なことです。

さて、我々44年卒も3年程前から、この総会担当幹事を一つの目標として同期会を数回開催してきましたが、実際の総会の準備にあたっては、分らないことばかりでした。「総会をもっと各年代間の交流の場にするにはどうしたらよいか」、「この不景気のなかで広告は集まるのか」、「プログラムのテーマはどうするか」等々。

その後、両国での3回の幹事会や有楽町での44年卒だけの十数回の打合せを重ねるうちに、高校時代は顔も知らなかったもの同士でも打ちとけ、一丸となって準備作業を進めることができました。「仕事にならない」時もありましたが、この総会準備のための経験は、仕事上では決して味わえない楽しいものでした。

こうして、本日、皆さんとともに総会を迎えることになりました。我々幹事の至らないところもあるかと思いますが、高校時代の旧交を暖めるとともに新たな出会いのために、本日の総会をお楽しみください。

また、これまで多くのご指導、ご援助をいただいた諸先輩に、幹事一同を代表して深く感謝いたします。さらに、創立百周年記念行事実行委員会の方々をはじめ地元高松の皆さまには、多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

最後に、44年卒同期の皆さん、ご苦労さまでした。

司会の紹介



・松井純子（昭和48年卒）

東京女子大卒。

東京海上火災保険(株)・フリーアナウンサー・四国学院大学非常勤講師等を経て、現在(株)マネジメントサービスセンターの主席コンサルタントとして、各企業のビジネスマナー研修・女子社員研修・監督職研修等を担当し、東奔西走の毎日です。

趣味は「食べ歩き」だそうです。

総会担当幹事年度の西日本放送アナウンサー熊谷富由美さんの紹介により、司会の大役を引受けていただきました。

寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられています。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

| 年度 | 出版社 | 書名 | 巻数 |
|------|----------|-----------------|-----|
| S 59 | 講談社 | 現代総合科学教育大系 | 13 |
| 60 | ほるぷ出版 | 数学マイウエイ | 8 |
| 60 | ほるぷ出版 | 英文「日本大百科事典」 | 9 |
| 61 | 筑摩書房 | ちくま少年図書館 | 100 |
| 61 | 東大出版 | 講座「日本思想」 | 5 |
| 62 | 朝日新聞社 | 「世界の地理」及び別巻付録 | 12 |
| 62 | 河出書房 | 「文芸読本」「自然読本」 | 25 |
| 63 | みすず書房 | 神谷美恵子全集 | 13 |
| 63 | 集英社 | 梅原 猛全集 | 20 |
| 63 | 集英社 | 私の古典 | 22 |
| 63 | 集英社 | シートン動物記 | 9 |
| H 元 | 筑摩書房 | 宮沢賢治全集 | 17 |
| 元 | 小川出版 | 世界各国史 | 17 |
| 元 | 清水書院 | 人と歴史シリーズ | 52 |
| 元 | N H K 出版 | 驚異の小宇宙・人体 | 8 |
| 2 | 未来社 | 宮本常一集 | 43 |
| 2 | 平凡社 | 東洋文庫「日本の古典」 | 10 |
| 2 | 平凡社 | 東洋文庫「日本の風俗と社会」 | 13 |
| 3 | 平凡社 | 東洋文庫「アラビアン・ナイト」 | 17 |
| 3 | 平凡社 | 東洋文庫「智恵の七柱」 | 3 |
| 3 | 平凡社 | 世界の民族 | 20 |
| 4 | 平凡社 | 南方熊楠全集 | 12 |
| 4 | 角川書店 | 鑑賞日本古典文学 | 36 |

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申しあげます。

御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供してありますことを御報告いたします。

平成5年6月 高松高校図書館

祝

第11回東京玉翠会総会

~~~~~

第11回東京玉翠会に

ご協力有難うございました

物品等御寄贈戴いた方々

(50音順・敬称略)

キヤノン販売株式会社

株式会社 資 生 堂

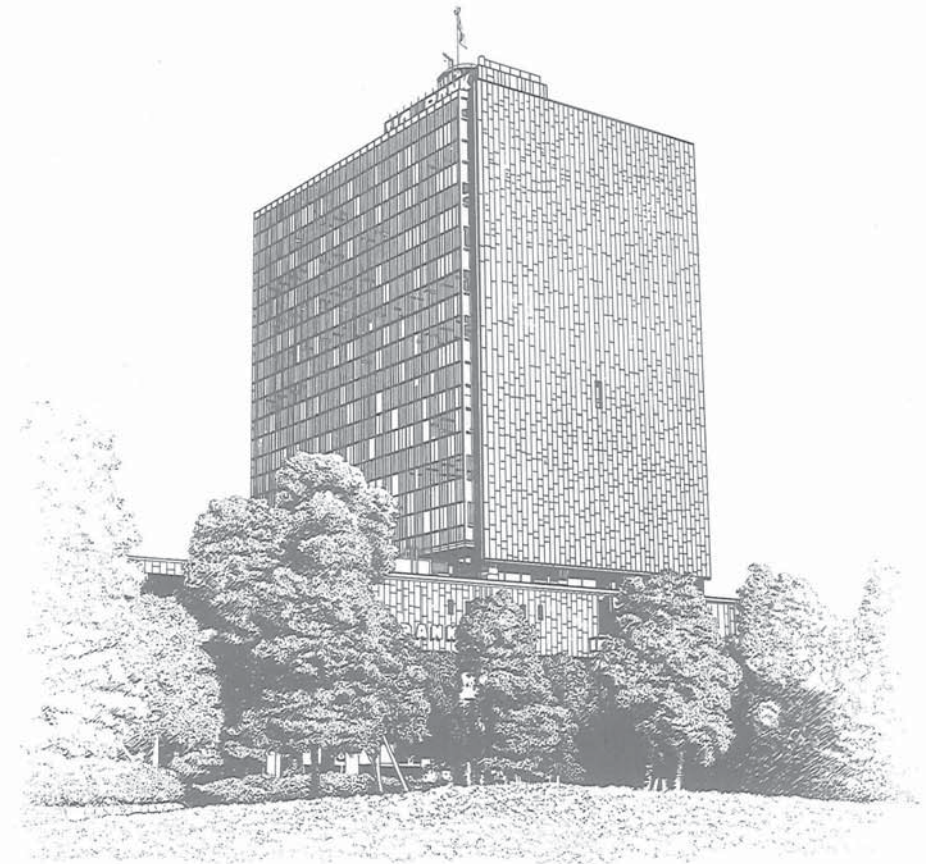
日本ハム株式会社

日本電気株式会社

株式会社 ホテルオークラ

株式会社 ホテルニューオータニ

確かな明日へ、信頼のお手伝い。



 百十四銀行

本店 高松市亀井町5番地の1

東京支店 中央区日本橋3-8-2  
新宿支店 新宿区百人町2-1-2  
青山支店 港区北青山3-5-12  
新川支店 中央区新川2-13-9





## 「幸せな食創り」をめざして…

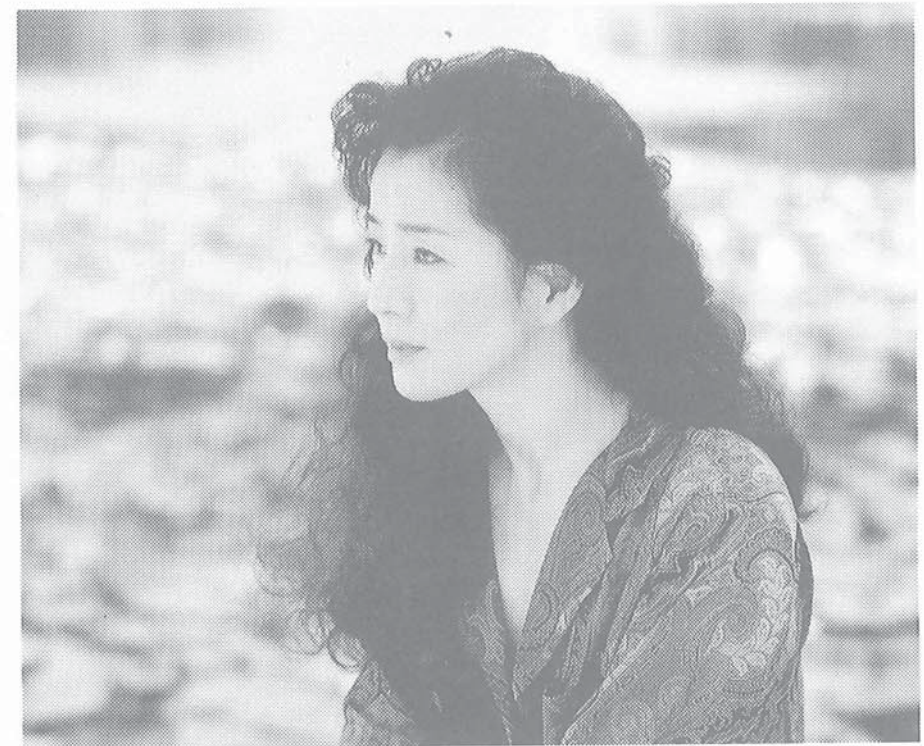
「食」に対する欲求は、人間の欲求のなかでも、とりわけ根源的なものだといえます。

この欲求の進化に伴う食生活の見直しや本質の追求は、

文化という形になって私たちの生活を潤しつつしてきました。

この食生活をあらゆる側面から応援し、幸せな生活づくりのお手伝いをする。

これが、日本ハムの提唱する、「幸せな食創り」です。



きっと、家から変わっていく。三井ホーム



三井ホーム株式会社/本社 〒163-04 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル15F ☎03(3346)4644



言葉は、  
ときどき  
つまらなくなる。

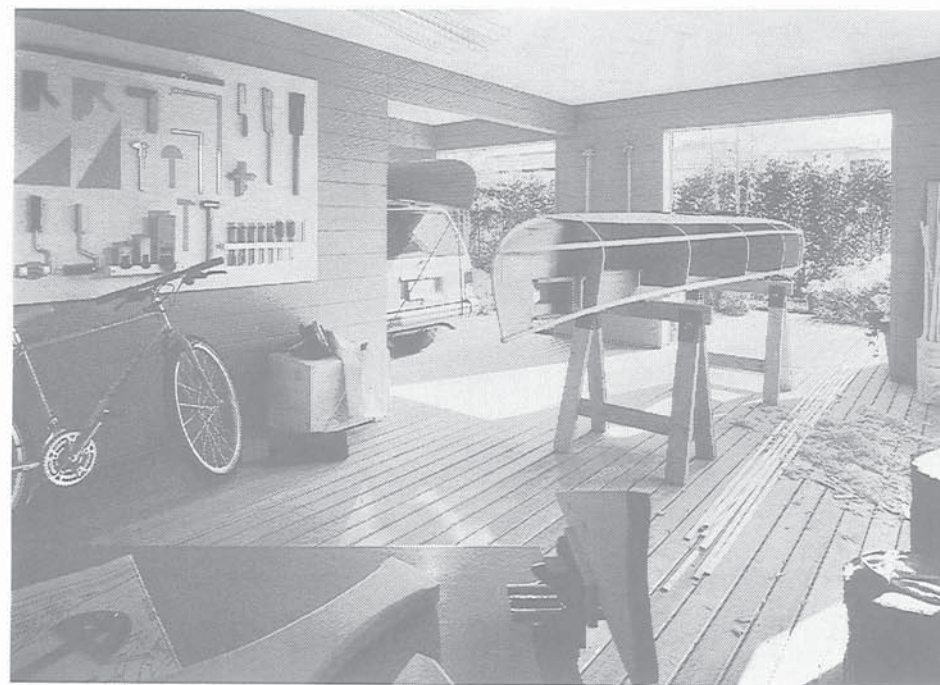
高齢生活主義です  
**PILOT**



伝えたい気持ちは星の数ほどあるのに、言葉はちょっとイジワルです。思うようには、なかなか出てきてくれません。だから、せっかく胸をついてあふれ出した言葉は、かすれずに書き記しておきたい。パイロットの直液式Vシリーズは、イキナリなめらか、最後までなめらか。あなたの、かけがえのない言葉を一字一字たいせつにします。  
万年筆タイプの新しい書き味。Vペン/ペストタイプ 極細 (白軸・黒軸) 使い切り本 200円 (税抜き) ★インキ色: 黒・赤・青・青石  
タイプでなめらか、水性ボールペン Vコーン/LV-15EP 使い切り本 150円 (税抜き) ★インキ色: 黒・赤・青・緑・ピンク・ラベンダー

(だから、なめらか直液式。)

## 自分流が基本です。



デビュー

## DEBUT 自由空間③

予算を大きく有利にいかせる3階建てです。同じ予算なら、やはり3階建て。DEBUT「自由空間③」は1階を自由空間、2・3階を生活空間として設計。高工业化住宅ならではの価格と品質を実現しています。自分流のライフスタイルが満喫できます。自由空間では、好きなことを、好きなように楽しめます。趣味の空間にしたり、家族の成長に合わせて使い方を換えたりと、自分流の価値観で自由に空間を創れます。「自由日」の時代を楽しむ、かっこいい選択です。自分流の時間を積極的に楽しめる「自由日」が増えてきています。これからは、自由自在に創り変えられる自由空間付きの3階建てこそ、住まいのかっこいい選択です。



DEBUT「自由空間③」。写真は44坪東玄関タイプです。一部仕様のものが含まれています。



DEBUTセラミック「自由空間③」。写真は50坪南玄関タイプです。一部仕様のものが含まれています。

—— '92総合マーケティング優秀賞受賞 ——

高いコストパフォーマンスと新しい価値観を提案する「自由空間」が、'92総合マーケティング優秀賞(社団法人 日本能率協会 主催)を受賞いたしました。

住む3代・100年のおつきあい  
**MISAWA** **ミサワホーム**  
〒163-08 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 03(3345)1111



# 祝 第11回東京玉翠会総会

高高44年卒香川県在住有志一同

伊賀宏文  
石田孝文  
井上哲  
岡田志朗  
岡田芳樹  
河合幹夫  
小竹和夫  
永安良光  
野口隆  
平星徹

石川徹  
伊藤憲二  
岡内秀郎  
岡田安隆  
小原文雄  
川西玉夫  
土井孝信  
野崎朝光  
平尾幸夫  
藤目清貴

(50音順・敬称略)

# 祝 第11回東京玉翠会総会

高高44年卒香川県在住有志一同

前田幸保  
間嶋行造  
円尾信二  
溝淵隆  
宮脇光男  
森芳名夫  
森川敏純  
和田俊裕  
渡辺正博

(50音順・敬称略)

# 祝 第11回東京玉翠会総会

高高44年卒香川県在住女性有志一同



世界の旅 **TOP TOUR**

TOKYU TOURIST 豊かな感動のステージへ  
**東急観光**

鉄 座 支 店

〒104 東京都中央区銀座6-14-8 (市信ビル7F)  
TEL 03 (3546) 1711(代)  
FAX 03 (3546) 8885

京 橋 支 店

〒104 東京都中央区京橋2-5-21 (京橋相互ビル1階)  
TEL 03 (3561) 9501(代)  
FAX 03 (3567) 5575

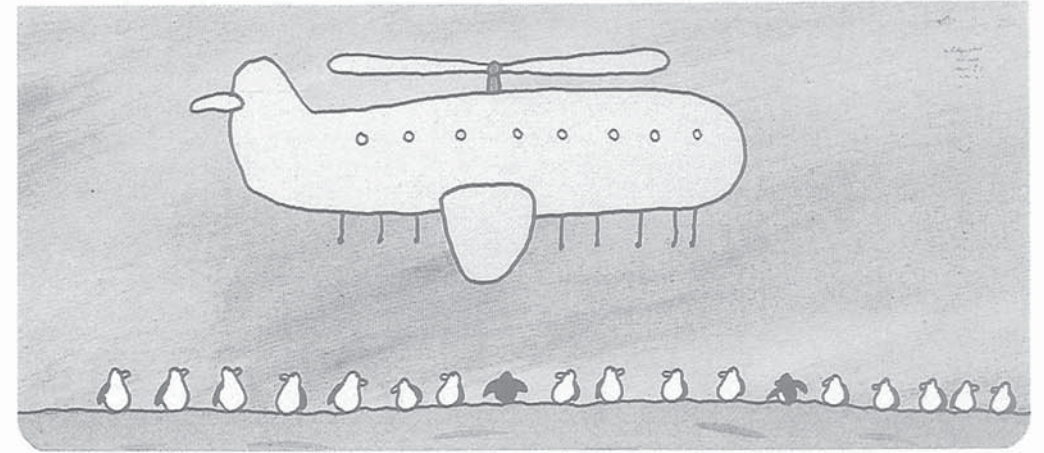


株式会社 'タダノ'

MOMOCO

このクレインの、  
デザインが好き。

もっと人にやさしい方がいい。もっと街と美しく調和する方がいい。そんな考えを大切にして生まれたカークレイン、それがタダノの「MOMOCO」とスーパーZです。世界初の機構「フックイン」を採用するなど一歩進んだ工夫によって、しなやかで洗練されたスタイリングを実現しました。



かわる、かわいい、たのしい通帳。

香川銀行の通帳は、かわいいイラスト。動物たちがユーモラスな表情で語りかけてきます。それに、毎月毎月表紙が変わるから、繰り越しが待ち遠しくなるのも、うれしい。次のお楽しみがある通帳っていうのも、いいですね。香川銀行からの提案です。



いつでもいき 香川銀行

浅田 鮎本舗

新 発 売



[ローカロリーより]  
0カロリー。

新甘味料  
**ELI SLIM**  
イリスリム



遠野舞子

甘いのが、大好き。  
カロリー、キライ。





THE WHEELS  
OF  
BUSINESS  
-原動力-  
sun communications


広告業務のトータルプランニング&プロデュース 〒151東京都渋谷区富ヶ谷1-13-9フォンテ西原宿ビル5F  
株式会社サンコミュニケーションズ TEL.03-3465-1701 FAX.03-3465-1301

時間と距離を越えて、エグゼクティブの選ぶ街。<sup>ホテル</sup>

国際ビジネスの舞台でご活躍の皆様のために、ビジネスサポート施設を、そしてヒューマンサービスを充実させております。  
— 大切なお客様のために心を込めて…  
ホテルニューオータニ東京



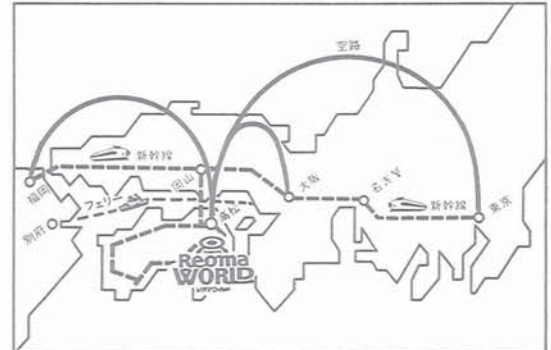
ご予約・お問合せは ☎0120-112211

 The New Otani  
〒102東京都千代田区紀尾井町4-1 ☎(03)3265-1111

森と湖のあるアミューズメント&リゾート

株式会社レオマ  
レオマワールド内 **チキンハウス**  
(浜松町 金比羅経営)

アーリーアメリカン風のインテリアでフライドチキンなど手軽な料理を楽しむことができるファーストフードサービス店



〒761-24 香川県綾歌町栗熊西342-1  
Tel. 0877-86-5555 Fax. 86-4654

海鮮問屋 **仲見世**

高松市古馬場町15-2  
☎(0878)51-8100(代)

**SUPER RESTAURANT HALL**



仲見世支店 **なか座 NAKAZA**

高松市鍛冶屋町4-5  
☎(0878)51-8600



朝日新聞社

右手に少年ジャンプ、  
左手にAERA。



創刊5年で、  
日本のリーディングマガジン

**AERA**  
アエラ

アエラ発行室長 西村秀俊(高高29年卒)  
編集部員 松崎幸治(高高51年卒)

定価350円(税込) ● 毎週火曜発売

## 高水準の品質をクリアした自然との共生。

人工的に創られた快適性が、いかに快適でなかったかを  
知った私たち現代人にとって、住まいの快適の基準は、  
『自然との共生』にあることに立ち戻ります。それはたとえば、  
「夏涼しく、冬暖かい」というひとつの快適エレメントを考え  
た場合、人工的な力によって室内温度を調節するの  
ではなく、天然の樹木の通気性や保湿度を最大限に利用  
する、というように。長い年月を経て、その土地の自然を知  
り、それぞれの生活条件における快適性を促す素材、形  
状、構造を選び出す。つまり、優れた住まいは、風土に順  
応して、自然の、風景の一部となる。ディヴァイスは考えます。  
従って、これからの住まいづくりには、自然と共生する住  
まいにおける新しい視点、エコロジーの概念に裏打ちされ  
た新しい技術開発がますます重要になってくるでしょう。  
上質の天然木を贅沢に使った北米の建築様式を現代  
に受け継ぐオーダーメイド住宅の総合プロデューサー、  
ディヴァイスのここはそこにあるのです。



代表取締役社長  
吉野 正良(31年卒)



株式会社 **ディヴァイス**

〒812 福岡市博多区奈良屋町1番15号かねじビル5F TEL:092-282-0825 FAX:092-282-0821

ANABUKI

住まいは  
あたたかい笑顔の  
集まる場所。  
家族のぬくもりの  
集まる場所。  
穴吹工務店の  
サーバスマンション  
ネットワークも  
住まいの未来を  
見つめて  
明日の暮らしを  
夢みて  
全国に広がっています。



笑顔が集まる  
サーパス家族。

分譲中・分譲予定サーパス

サーパス戸田公園・サーパス春日部・サーパス青葉台・サーパス上尾・  
サーパス上尾第2・サーパス武蔵浦和第2・サーパス平塚・サーパス藤  
沢湘南台第2・サーパス藤沢湘南台第3

快適な暮らしを創る

**穴吹工務店**  
ANABUKI

《設計・施工》建設業許可建設大臣(特-3)第1478号 宅建業免許建設大臣  
(特)第1545号(社)日本高層住宅協会会員(社)日本リゾートクラブ協会会員  
東京支店 〒160 東京都新宿区西新宿1-1-7 MSビルディング  
TEL: (03) 3372-8800(代表)

本 社: 〒760 高松市藤塚町1-11-22 TEL: (0878) 35-7111(代表)  
支 店: 東京・横浜・大阪・岡山・広島・徳山・高松・松山・徳島・高知・  
福岡・熊本・大分・鹿児島  
営業所: 新潟・大宮・松江・丸亀・新居浜・大洲・長崎・宮崎

**穴吹グループ**  
ANABUKI

穴吹工務店 穴吹住宅建材部 株式会社川島建設 株式会社アサノコンクリート 株式会社上野建設 株式会社加藤建設 株式会社ヴィラサービス 株式会社エンジニアリング アナブキコーポレーションオーストラリア 株式会社トラステート  
株式会社コムニティ 株式会社穴吹産産 株式会社穴吹ハウジングサービス 株式会社穴吹人材派遣センター 株式会社エンタープライズ 株式会社穴吹コンピュータサービス 株式会社アサノの穴吹 株式会社スペースプランニング 株式会社穴吹情報専門学校  
株式会社穴吹専門学校 株式会社穴吹コンピュータ専門学校 株式会社穴吹国際ビジネス専門学校 株式会社穴吹カレッジオブデザイン 株式会社穴吹カレッジオブビジネス 株式会社穴吹学園日本語学校  
株式会社穴吹ミサホーム事業部 株式会社穴吹特建事業部 株式会社穴吹不動産センター ロイヤルパークホテル高松 第一イン高松 岡山パークホテル 穴吹トラベルセンター 穴吹フィットネスクラブ ヴィラ堀江  
ヴィラ北郷井沢ビルディング 穴吹コンピュータ教育所 穴吹進学セミナー 穴吹国際交流センター 穴吹ビズメディアネットワーク

## 西川紀男法律事務所

弁護士 西川 紀 男

(高高34年卒)

事務所 〒107 港区赤坂3丁目2番6号 パゴダビルディング6階

☎ (3587) 1 8 4 1 (代)



一級建築士事務所

# 株式会社 シバ設計

所長 柴原 力  
一級建築士

(高高34年卒)

事務所 〒150 渋谷区道玄坂1-15-3-319

☎ 3476-4371 (代)

ニーズに応える確かな技術



進歩と発展を無限につなげる  
ニイガタ・エンジニアリング

## 新潟鉄工

本社/〒100東京都千代田区霞が関1-4-1

☎ 03(3504)2111



# 株式会社 岩本組

代表取締役 藤沢 恒代

東京都北区田端1丁目23番16号 TEL(03)3823-3161(代)



## 株式会社 ジャストシステム

若い情熱と創造力で  
培った日本語処理技術。  
さらに夢を広げて



専務取締役

浮川 初子 Hatsuko Ukigawa

旧姓 橋本 [高高44年卒]

●本社/ジャストシステム研究所  
770 徳島市沖浜東3-46  
TEL:0886-55-1121 [代]

●東京支社  
105 港区芝1-5-9 住友ビル2号館8F  
TEL:03-5476-8333 [代]

●大阪営業所  
532 大阪市淀川区西中島5-9-5  
新大阪天祥ビル5号館8F  
TEL:06-390-9820 [代]

●新居浜事業所  
792 新居浜市紫本町5-31 第3越智ビル2F  
TEL:0897-33-3826 [代]

●岡山研究所  
700 岡山市本町3-13  
イトーピア岡山本町ビル4F  
TEL:0862-26-1771 [代]

●名古屋営業所  
460 名古屋市中区丸の内2-8-11  
セブン丸の内ビル2F  
TEL:052-232-2715 [代]

●松山研究所  
790 松山市三番町6-3-4  
松山パルビル8F  
TEL:0899-21-1181 [代]

●福岡研究所  
812 福岡市博多区東比恵3-5-2  
いちごプラザビル4F  
TEL:092-412-5705 [代]

## (財)日本生産性本部

〒150 東京都渋谷区渋谷3-1-1

☎ 03-3409-1111

建材商社から生活提案型企業を目指す



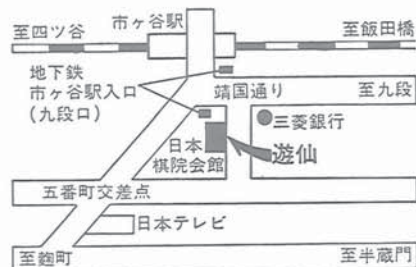
〒761-01 香川県高松市高松町2171-3 TEL(0878)41-2241(代) FAX(0878)43-5638



茶寮



御宴会、御会合に  
オフビジネスのひとつに  
是非御利用下さい。



東京都千代田区五番町7-2  
日本棋院会館内 ☎ 03(3262)5219



## 日本塩回送株式会社

相談役 平井健吉  
(高中23回卒)

東京都港区南青山3-18-7 ☎ 03(3403)5471 (代表)

## センチュリー証券

取締役社長 野崎博通  
(高中44回卒)

〒103 東京都中央区日本橋本町2-7-1  
☎ 03-3667-0371

## 岡田輝彦 公認会計士 事務所

所長 岡田輝彦  
(高中44回卒)

☎ 03(3263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麴町1丁目3番地 (麴町1丁目3番地ビル)

## 南海プライウッド株式会社

代表取締役 丸山 修 (高中45回卒)

本社 ● 高松市松福町1丁目15番10号 ☎ (0878)22-0656 (ダイヤルイン)

さまざまなニーズをソフトでささえ、ハードで応える

## 極東産業株式会社

取締役会長 中村文俊 (高中50回卒)

- 装置・機械 (汙過機・攪拌機・熱交換器)
  - 設備機器 (タンク・パイプ・伸縮継手等)
  - 防蝕ライニング ■エンジニアリング・工事
- 本社 東京都港区新橋5-10-5  
☎ 03-3433-4761  
大阪支店・中部支店・鹿島営業所

## 株式会社 カツミ堂写真機店

(藤本節子 昭和19年卒)

〒104 東京都中央区銀座5丁目9番1号  
日曜・祭日営業  
☎ 03(3571)0468(代)



## 祝

## 第11回東京玉翠会総会開催

東京晚翠部会



# 藤井法律事務所

弁護士 藤井 富弘  
(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋4-31-7 中村ビル3階  
TEL 3431-2267  
3431-2304  
FAX 3431-2365

# 東高化成株式会社

取締役社長 増田 陽三  
(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-6-16(エターナルビル)  
TEL 03(3563) 6271(代表)  
FAX 03(3563) 6278 〒104  
大阪支店 大阪市東区淡路町2-40-4(弘栄ビル)  
TEL 06(222) 2861(代表)  
FAX 06(222) 2863 〒541

自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい

—— 自叙伝、社史等は原稿がなくても本になります ——

当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い

☎ 3433-1481

印刷の総合センター 株式会社 三州社 井関賢治(高高29年卒)  
〒105 東京都港区芝大門1-1-21

## 玉翠会の溜り場

## スナック チロ

(創業25年)

例会日 毎第2金曜日

新宿区四谷三栄町16  
TEL 3353-9847



# 近藤和彦会計事務所

税理士  
近藤 和彦  
(高高30年卒)

〒110 台東区上野5-15-12 原ビル4F  
☎ 03-3835-0025

# フジカナ工産業(株)

代表取締役 矢野 裕  
(高高30年卒)

東京事務所  
〒102 東京都千代田区三番町5-14 サンハイム三番町501  
電話 03(5275)3131 FAX 03(5275)3133

## 矯正歯科

渋谷・道玄坂

# 山田矯正歯科クリニック

◎矯正歯科・一般歯科 土・日・祝日休診

院長 山田 勲 (高高32年卒)

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

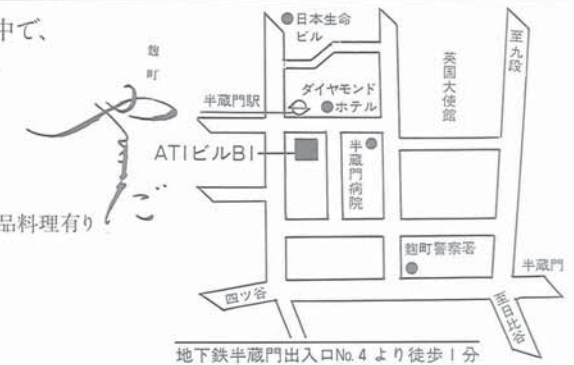
☎ 3464-1166(代)

麹町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、  
玄海灘直送の生魚料理をお楽しみ下さい。

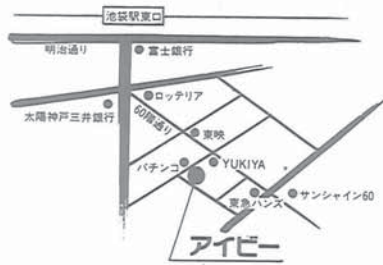
- 営業時間 11:30 AM ~ 2:00 PM  
5:30 PM ~ 11:00 PM  
日曜日・祝祭日・休業
- 昼定食 1,000円~
- 夕 4,000円コースより、他一品料理有り

〒102 東京都千代田区麹町1-8 ATIビルB  
PHONE: 03-3221-0505

山田 勲 (高高32年卒)







スナック **アイビー**

渡 辺 浩

(高高31年卒)

豊島区東池袋1-41-14

☎ (3983) 2 7 2 0

高松へお帰りのときは、ぜひお立寄り下さいませ!!



- 世界のブランドフレーム、あなたに合った良いメガネをお安く作ります。
- 遠近両用メガネ、薄型メガネのご相談はぜひ当店へ。

**メガネの宝生堂**

高松市木太町2区(マルナカ木太店南80m)  
☎(0878)62-1555 高高35年卒 河田 年彦

岡崎・大橋・前田法律事務所

弁護士 岡 崎 洋

(高高37年卒)

〒101 東京都千代田区神田小川町1-8-8

六建ビル8F

TEL (03) 3252-6866

FAX (03) 3252-6865

前田勇税務会計事務所

税理士 前 田 勇 (高高38年卒)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号

市ヶ谷法曹ビル807号

電話 03(3265) 9 4 7 1 番(代)

自 宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6

電話 0425(92) 7 7 6 0 番

足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所

弁護士 宮 武 敏 夫

(高高31年卒)

〒100 千代田区大手町2-3-6

タイム・ライフビル

☎ (3270) 7 4 6 1

会社・官庁用ユニフォーム



代表取締役 高 木 英 一 (高高43年卒)

〒761-01 香川県木田郡牟礼町原1998

TEL(0878)45-1151(代) FAX(0878)45-1153(専)

上下水道設計・土木設計・測量調査

日新技術株式会社

代表取締役 恵 比 須 忠 (高高42年卒)

本 社 〒760 高松市茜町15-20-305

電話 (0878)31-0150

FAX (0878)31-0170

東 京 本 店 〒160 新宿区百人町1-6-15

ヤナギヤビル

電話 (03)3200-9269

FAX (03)3208-5991

埼玉営業所 電話 (0429)52-9860

祝

第11回東京玉翠会総会

えびす会一同

(高高42年卒)

〒160 新宿区百人町1-6-15 ヤナギヤビル

日新技術(株) 内

TEL 03-3211-6861





**TAKAMATSU  
PUBLIC  
GOLF  
COURSE**

18ホールズ/パー72

**木太興産株式会社**

代表取締役 石橋 治(高高29年卒)  
〒760 高松市木太町4583  
TEL.0878-34-1524代 0878-61-4509(予約専用)

ソフトウェアの新世代を創造する  
——リサーチ&ディベロップメント専門企業——

**ソフトウェアジェネレーション(株)**

代表取締役 本村 昭二 (高高32年卒)

〒102 千代田区飯田橋1-7-10 山京別館 7F  
TEL 03-3234-5638

◀技術者募集中!!▶



快適をクリエイトする考働企業

**関西電業株式会社**

社長 大西 大介 (高高昭和35年卒業)

本社/高松市三谷町136番地 ☎(0878)88-3111

**KOZAI**

建築設計・施工 株式会社



明日の郷土をつくる

**香西工務店**

代表取締役 香西 幸夫 (昭和41年卒) 不動産の活用  
遊休地の利用

高松市室町1919の1 TEL (0878) 67-1875 (代表)  
FAX (0878) 67-1882

株式会社 カニワトーキョ

代表取締役 岩井 耀子  
(高高42年卒)

東京都港区赤坂9-6-27 カーム乃木坂  
TEL (03) 3401-4509

**Obrey**

HORLOGER-JOAILLIER



営業時間 A.M.10:00~P.M.7:00 日曜、祭日は休みます。

内科・胃腸科・循環器科  
**蓮井内科医院**  
院長 蓮井 直行

高松市太田上町塩江街道沿 (三名バス停前)  
☎ (0878) 88-1331

松本修二法律事務所

弁護士 松本 修二 (高高35年卒)

高松市寿町1-2-5 朝日生命高松第2ビル5F  
TEL (0878)22-6787 FAX (0878)21-1265

**Kosmo グループ**

株式会社 コスモテック  
株式会社 コスモ・テン  
株式会社 コスモ21企画  
株式会社 東京コスモ不動産  
ADOMOC CORPORATION

代表取締役 **鷹田 快公**

本社 〒160 東京都新宿区西新宿8-14-17 アルテール新館ビル1112  
TEL 03-3360-4321代 FAX 03-3227-1117  
本社 〒107 東京都港区赤坂2-8-15 オリエンビル 305  
TEL 03-3588-8291代 FAX 03-3588-8292  
BRANCH 580 S.Douglas St. El Segundo, CA 90245 U.S.A.  
TEL 310-536-0214 FAX 310-536-0317

おめでとうございます100周年



**お目**

にかかると楽しみに。

●出版案内●

各種PR冊子  
保健衛生/国民健康保険  
国民年金/防災/緑化  
交通安全/環境衛生  
健康保険



**髯東京法規出版**

本社/東京都文京区白山1-29-12  
☎03(3814)3851(代表)

**(株)スミダ文具店**

多田 恵美子(昭和42年卒)  
(旧姓 隅田)

隅田 秀一(昭和44年卒)

隅田 啓(昭和50年卒)

〒760 高松市丸亀町13-5  
TEL 0878(51)3826  
FAX 0878(22)4241

**小倉・田中法律事務所**

弁護士 小倉 良弘

(高高39年卒)

〒160 新宿区四谷2-2 四谷フジビル3階

TEL 03-3355-2268

FAX 03-3355-2308

**ツゲ医院**

柘植 司郎

(高高47年卒)

香川県高松市川部町1443-1

☎ 0878 (85) 1432

手打うどんと季節料理の店

**磯崎茶屋**

日本橋店 東京都中央区八重洲一丁目三番八号  
電話(三三)七四三三〇三番(代表)  
京橋店 東京都中央区京橋二丁目十一番一號  
電話(三三)五八五〇番  
銀座店 東京都中央区銀座四丁目九番五号  
電話(三三)五四二〇八六一番  
東京都港区芝五丁目三十三番七号  
電話(三三)四四四二二番  
東京都中央区本町二丁目二番  
電話(三三)五五五五番  
静岡県新居町市東田中宇佐船場  
サンブラザゴテン  
電話(〇五五〇)八三一七三七番



<p>財団法人 全電通労働会館</p> <p>専務理事 久保醇治 (高高27年卒)</p> <p>〒101 東京都千代田区神田駿河台3-6 電話 (03) 3219-2211 FAX (03) 3219-2219 全電通本部 (03) 3219-2111代 内線 2281</p>	<p><b>珪素産業株式会社</b></p> <p>取締役社長 宗本徳禪 (高中37回卒)</p> <p>東京都杉並区成田西1-17-8 ☎ 03 (3313) 6505</p>
<p><b>大西昭一郎法律事務所</b></p> <p>弁護士 大西昭一郎 (高高33年卒)</p> <p>千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区 ☎ 03-3212-0841 (代表)</p>	<p><b>税理士 山口修事務所</b></p> <p>税理士 山口修 (高高33年卒)</p> <p>事務所 東京都北区赤羽1-37-13 城北ハイツ205 ☎ 03 (3903) 4111</p>
<p><b>中広デンタルクリニック</b></p> <p>☎ 03 (3591) 5822</p> <p>中広哲也 (高高46年卒)</p> 	<p><b>adc</b> 株式会社エイデザインセンター 〒116 東京都荒川区町屋1-4-9 TEL:03-3809-0591 FAX:03-3895-5367</p> <p>代表取締役 井上 榮 (高高33年卒)</p> <p><b>INOUE</b> 井上美術印刷株式会社 〒116 東京都荒川区町屋1-4-9 TEL:03-3819-0821(代)</p>
<p>からすみ 珍味 かまぼこ 天ぷら</p> <p><b>吉内</b> KKHINAI</p> <p>鯛の浜焼 鱈の味噌漬 まな鱈の味噌漬 天然車えび</p> <p>株式会社吉内</p> <p>■常盤町店 千760 高松市常盤町1-5-9 (ダイエー西口前) TEL.0878-62-0001 FAX.0878-37-6262</p> <p>■新北町店 千760 高松市新北町14-33 (マルヨシセンター西町店北200m) TEL.0878-62-0011 FAX.0878-37-6006</p>	<p><b>オガワ歯科医院</b></p> <p>小川 淳 (高高29年卒)</p> <p>小田急読売ランド駅前 川崎市多摩区西生田3-7-22 TEL 044-955-0558</p>

<p>営業品目 石油製品、車検修理、損害保険、カーリース プロパンガス、ガス器具、住宅設備機器</p> <p><b>久米加石油株式会社</b></p> <p>社長 久米 房之助</p> <p>本社 高松市北浜町6番10号 TEL (0878) 51-0521代</p>	<p><b>JAZZ at SATIN DOLL</b></p> <p>佐藤 光一</p> <p>〒760 高松市塩上町1-1-23 TEL (0878) 34-9977</p> 
<p>祝 第11回 東京玉翠会総会 <b>植松 武彦</b> (高高31年卒)</p> <p>帝人株式会社 理事 トアスポーツ(株) 取締役社長 トア 沼津(株) 取締役社長 (株)麻業会館 取締役 国華産業(株) 顧問</p>	<p>古都 鎌倉で15年 小町通り 本の <b>目耕堂</b></p> <p>古都散策の折には、ぜひとも お立寄り下さい。 TEL 0467-23-0331</p> <p>末澤 惇・和子 (高高27年卒)</p>
<p><b>宮武 医院</b></p> <p>宮武 治郎 (高高32年卒)</p> <p>〒192 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317</p>	<p><b>濱田法律事務所</b></p> <p>濱田 清 (高高32年卒)</p> <p>〒102 千代田区平河町1の8の2 山京半蔵門パレスビル604 TEL 03-3221-6261</p>
<p><b>森岡クリニック</b></p> <p>外科・胃腸科・内科・肛門科 皮膚科・整形外科・理学診療科</p> <p>森岡 暁 (高高39年卒)</p> <p>松戸市上本郷4384 TEL 0473-61-3161</p>	<p>赤松和彦法律事務所</p> <p>弁護士 赤松 和彦 (高高35年卒)</p> <p>高松市錦町2-17-8 TEL (0878) 51-8107 FAX (0878) 21-0747</p>
<p><b>松本整形外科医院</b></p> <p>院長 松本 学 (高高43年卒)</p> <p>香川県高松市塩上町2-8-1 0878-35-5272</p>	<p>立野省一法律事務所</p> <p>弁護士 立野 省一 (高高41年卒)</p> <p>高松市番町1-10-1 日下ビル3F TEL (0878) 61-1324 FAX (0878) 61-8018</p>
<p><b>吉田樹脂化学株式会社</b></p> <p>取締役社長 吉田 進 (高高42年卒)</p> <p>本社 千760 高松市朝日町3丁目2番1号 TEL (0878) 51-2784代 FAX (0878) 22-0623</p> <p>東京出張所 千202 東京都保谷市住吉町4丁目8番19号 TEL (0424) 23-7460 FAX (0424) 23-7466</p>	<p><b>高橋歯科医院</b></p> <p>院長 高橋博之 (S41年卒)</p> <p>高松市番町3丁目15-21 ☎ (0878) 33-3328</p>



<p><b>株式会社 東京堂</b></p> <p>杉野 邦雄 (高高44年卒)</p> <p>〒760 高松市常磐町1-4-24 TEL(0878)33-4491</p>	<p>弁護士 <b>川崎 達夫</b> (高高43年卒)</p> <p>高松市亀岡町3番3号 事務所 ☎(0878)31-3333 FAX(0878)31-8726 自宅 ☎(0870)31-3131</p>
<p>不動産売買及有効活用のご相談は <b>(有)森不動産</b>へお気軽にどうぞ</p> <p>代表取締役 森 芳名夫(S44年卒)</p> <p>0878-67-8877 (FAX兼用) 0878-67-0621</p>	<p>イタリア料理 <b>ミラノの おかず屋さん</b></p> <p>武田 信道 (S44年度卒) 高松市亀井町11-14(江郷ビル) TEL(0878)87-1782</p>
<p><b>松本書店</b></p> <p>松本敏裕 (高高44年卒)</p> <p>〒760 高松市栗林町1丁目7-15 TEL.0878-33-1660代 FAX.0878-37-1476</p> <p>桜町支店 高松市桜町2丁目2-1 TEL.0878-31-2420</p>	<p><b>竹広小児科医院</b></p> <p>高松市太田下町2462-3 TEL0878(66)2461 FAX0878(66)6099</p> <p>院長 竹広 晃 竹広 章代(高高44年卒)</p>
<p>山下法律事務所</p> <p>弁護士 山下 照樹 (高高44年卒)</p> <p>〒760 高松市錦町1-11-1 TEL(0878)51-1401 FAX(0878)51-1402</p>	<p>株式会社 <b>中尾商店</b></p> <p>●ベビー&amp;マタニティ ●医療雑貨 ●医療器具 ●家庭雑貨</p> <p>専務取締役 中尾 好輝 (高高44年卒)</p> <p>〒760 高松市扇町1丁目23番22号 TEL.(0878)21-5586代・FAX.(0878)51-6938</p>
<p><b>(株)岩部保多織本舗</b></p> <p>岩部 卓雄 (高高44年卒)</p> <p>〒760 高松市磨屋町8番地3 TEL(0878)21-7743</p>	<p>鮮魚仲買 <b>(有)伊勢屋</b></p> <p>代表取締役 香西 照仁 (高高44年卒)</p> <p>高松市瀬戸内町30の5 TEL(0878)61-2480 FAX(0878)61-3899</p>
<p>★鋼製建具 ★ユニットフロアー ★黒板</p> <p><b>株式会社 精五舎</b></p> <p>子 泰 (高高46年卒)</p> <p>本社 高松市天神前5番22号 ☎(0878)31-9111</p>	<p>評論家・映画コメンテーター</p> <p><b>小河 雄磨</b> (高高44年卒)</p> <p>〒761-01 高松市高松町2426 TEL(0878)41-9308 FAX(0878)41-4160</p>

愛と信頼をお届けするカタログ販売のセシール



■会社の概要(平成5年6月現在)

- 設立/昭和49年8月 ●資本金/116億円
- 従業員数/3,400名
- 年商/2,071億円(平成5年3月期)

**株式会社セシール**

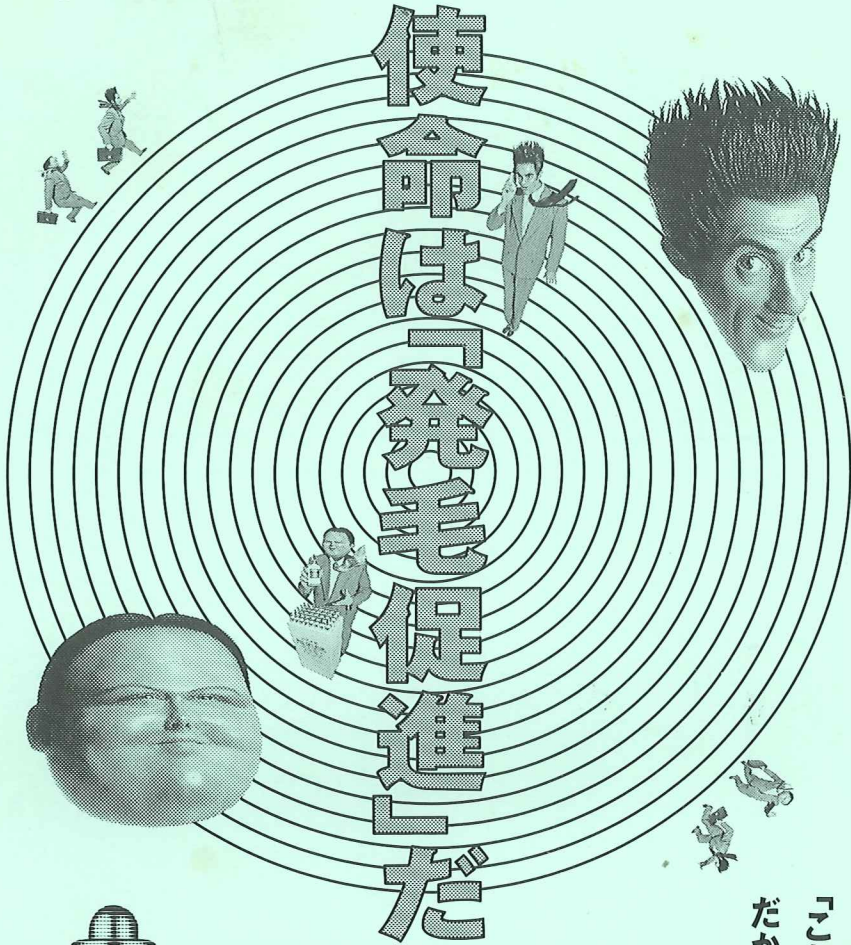
本社  
〒760 高松市多賀町2丁目10番20号  
TEL(0878)94-8888大代表 FAX(0878)35-5775代表  
志度商品加工センター  
〒769-21 大川郡志度町大字鴨庄字大人4259番地1  
TEL(0878)94-5555大代表 FAX(0878)94-1133代表

**Cécilene**

\*セシレーヌ\*は、株式会社セシールのブランド名  
女性の最高位を意味するレーヌ(女王、王妃)と社名セシールとの造語です。  
セシールの製品が「ファッションの女王であるように」との願いから生まれました。



ヒトを彩るサイエンス  
SHISEIDO



「これから生える髪」が重要だ。  
だから、頭皮角質層へ浸透だ。



◆ シヤニーサイズ(1,600円)もあります。  
表示価格は税抜希望小売価格です。

発毛促進剤

薬用不老林  
メイグイファ(無香料)  
(医薬部外品) 6,000円

無香料

効能効果

発毛促進、毛生促進、育毛、養毛。  
薄毛・ふけ・かゆみ・脱毛の予防。

● 次に生える髪は、撥軍を必要としています。抜ける髪あれば生える髪あり。大切なのは生える前の段階に手を打つことです。薬用不老林メイグイファは、今伸び続けている髪よりも、これから生える髪を重視した発毛促進剤。マイカイ花エキスが、まず頭皮の角質層を保湿して柔軟にする。さらに、角質層への浸透性で有効成分を送りこむ。メイグイファの発毛戦略で、これから生える髪に積極的支援を。

薬用不老林  
**メイグイファ**  
マイカイ花エキスの効果